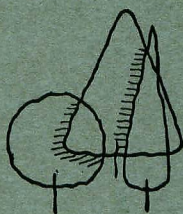


收穫試驗地調查報告 第6号

熊本營林局管内
收穫試驗地調查中間報告書



農林省林業試驗場

東京・目黒

November 1958

序

欧米における収穫試験の濫觴はとおく1871年のドイツ連邦林業試験場の設立に基くが、ドイツにおいては、すでにそれらの長期にわたる貴重な収穫試験の成果を利用して、林木収穫および林木成長学を樹立し、あわせて収穫表の改訂をも行つてきている。また戦後、英国においても収穫試験の重要性を認め、すでに一千余に及ぶ固定標準地を設けて、鋭意その測定を実行しつつある。

ひるがえつて、わが国においては1932年（昭和7年）に国有林野事業規程の一部が改正せられ、各営林局においても試験業務を行いうることとなり、ついで1934年（昭和9年）に収穫試験施行方法が定められ、爾来、各営林局は本格的に収穫試験に着手し、すでに二十有余年の歳月が経過した。

その間、第二次世界大戦勃発のため、試験測定の一部が中絶せられたものや、あるいは試験地が誤乱伐されたものなどを生じ、改廃の余儀なきに至つたものも少なくなく、また戦後林業試験はすべて営林局から林業試験場へと所管がえせられる等、幾多の迂余曲折を見たのであるが、収穫試験のごとき長期にわたる試験はわが国においては他にその例がなく、その成果はわが国林業経営技術の貴重なるよりどころとして、期待せられるところはきわめて大きいといわねばならない。

しかし、その成果の十分な解明には今後なお数十年という長い歳月を要するので、いまだ試験の中間段階にすぎないが、すでに二十有余年の成果を重ね得たので、一応の中間報告を行ふべく、さる1954年（昭和29年）以来林業試験場経営部および関係各支場においてそれらの資料の整理取りまとめに努めてきた次第であつて、ここに一応の取りまとめを完了したので、これを印刷公表し、国有林経営上はもちろん、広くわが国一般林業経営上の好個の参考資料たらしめんとするものである。

元来、この種の長期にわたる試験の遂行には強い責任感とたゆまざる忍耐とを要する。今回一応の中間発表を行いうるに至るまでには、おおくの営林局署および林業試験場担当官のおとい努力が積み重ねられたことにおもいをいたし、ここにそれら担当職員の労を衷心より多とするとともに、今後関係各位の一層の努力を切望する次第である。

最後に本書を取りまとめるにあたり寄せられた国有林当局の御協力に対し、深甚なる謝意を表するものである。

1958 年 11 月

林業試験場長 斎 藤 美 鶯

熊本営林局管内収穫試験地調査中間報告書

目 次

序	
凡 例	
位 置 図	
1. 内住山A種収穫試験地	1
2. 背振山A種収穫試験地	5
3. 頭野A種収穫試験地	9
4. 山瀬作礼第1号A種収穫試験地	13
5. 山瀬作礼第2号A種収穫試験地	17
6. 本城A種収穫試験地	21
7. 越差A種収穫試験地	25
8. 久間横山A種収穫試験地	29
9. 萱瀬山A種収穫試験地	33
10. 仁川第1号A種収穫試験地	37
11. 仁川第2号A種収穫試験地	39
12. 金峰山A種収穫試験地	41
13. 菊池深葉A種収穫試験地	43
14. 丸山A種収穫試験地	47
15. 大畑B種収穫試験地	51
16. 湯前B種収穫試験地	55
17. 瑞海野A種収穫試験地	61
18. 高内B種収穫試験地	65
19. 切込A種収穫試験地	71
20. 尾鈴A種収穫試験地	75
21. 白水A種収穫試験地	79
22. 多羅原A種収穫試験地	83
23. 本田野A種収穫試験地	87
24. 夏木A種収穫試験地	91
25. 霧島A種収穫試験地	95
26. 権見A種収穫試験地	99
27. 青井岳A種収穫試験地	103
28. 万膳第1号A種収穫試験地	107
29. 万膳第2号A種収穫試験地	111
30. 万膳第3号A種収穫試験地	115
31. 杉崎A種収穫試験地	119

凡

例

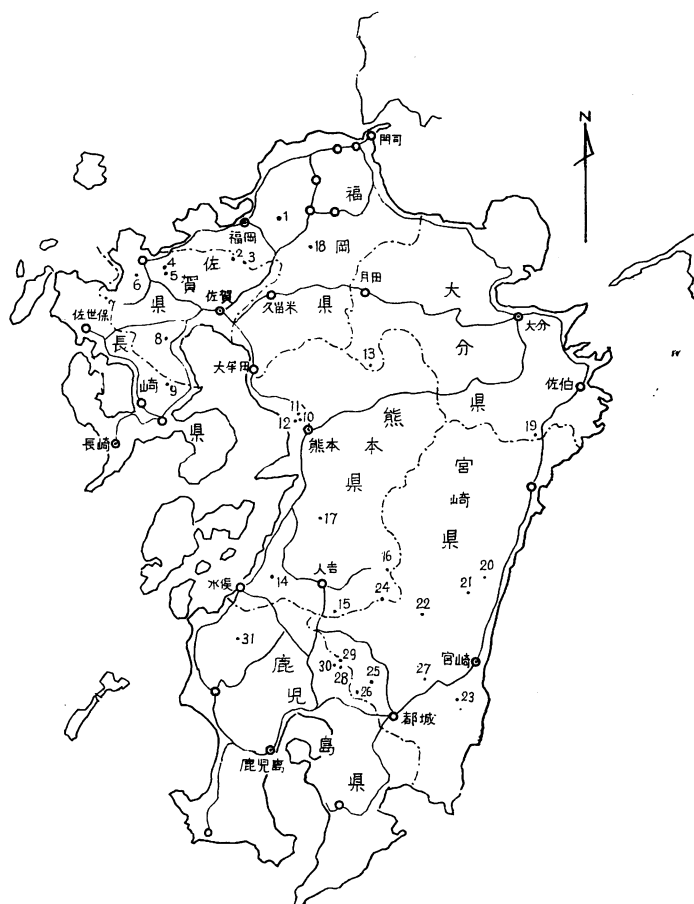
1. この報告は、熊本営林局管内で、現在試験継続中の試験地31箇所について取りまとめた。
2. Ⅰ～Ⅴ表のうち、記載事項のないものは……をもつて表わした。これはその試験地の調査項目にとりあげられていないか、または資料がないため掲記できなかったものである。
3. Ⅳ表は試験地実面積の数値を、Ⅴ表は1ha当りに換算した数値を記載した。
4. Ⅴ表の成長量および成長率はプレスラー式によつて計算した。

熊 本 営 林 局 管 内 試 験 地 一 覧 表

試 験 地 名	人 工 天 然 別	目 的 樹 種	設 定 年 月
内 住 山 A 種 収 穫 試 験 地	人 工	ヒ ノ キ	1938年 3月
背 振 山 A 種 収 穫 試 験 地	"	ス ギ	1937年 3月
頭 野 A 種 収 穫 試 験 地	"	ヒ ノ キ	1937年 3月
山瀬作礼第1号A種収穫試験地	"	ス ギ	1941年 3月
山瀬作礼第2号A種収穫試験地	"	ヒ ノ キ	1941年 3月
本 城 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1940年 11月
越 差 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1937年 11月
久 間 横 山 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1950年 3月
萱 瀬 山 A 種 収 穫 試 験 地	"	ス ギ	1950年 12月
仁 川 第 1 号 A 種 収 穫 試 験 地	"	ヒ ノ キ	1948年
仁 川 第 2 号 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1948年
金 峰 山 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1953年 9月
菊 池 深 葉 A 種 収 穫 試 験 地	"	ス ギ	1948年
丸 山 A 種 収 穫 試 験 地	"	ヒ ノ キ	1931年 10月
大 畑 B 種 収 穫 試 験 地	"	ス ギ	1917年
湯 前 B 種 収 穫 試 験 地	"	ヒ ノ キ	1917年 5月
瑞 海 野 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1950年
高 内 B 種 収 穫 試 験 地	"	"	1917年
切 込 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1938年 2月
尾 鈴 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1937年 11月
白 水 A 種 収 穫 試 験 地	"	ス ギ	1948年 8月
多 羅 原 A 種 収 穫 試 験 地	"	ヒ ノ キ	1936年 11月
本 田 野 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1934年 10月
夏 木 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1936年 1月
霧 島 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1935年 10月
権 見 A 種 収 穫 試 験 地	"	ア カ マ ツ	1935年 2月

熊本営林局管内収穫試験地調査中間報告書

試 験 地 名	人 工 天 然 別	目 的 樹 種	設 定 年 月
青 井 岳 A 種 収 穫 試 験 地	人 工	ヒ ノ キ	1 9 3 2 年 1 0 月
万 膳 第 1 号 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1 9 5 2 年 1 1 月
万 膳 第 2 号 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1 9 5 2 年 1 1 月
万 膳 第 3 号 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1 9 5 2 年 1 1 月
杉 崎 A 種 収 穫 試 験 地	"	"	1 9 5 1 年



番号	試 験 地 名	番号	試 験 地 名
1	内 住 山 A 種 収 穫 試 験 地	17	瑞 海 野 A 種 収 穫 試 験 地
2	背 振 山 A 種 収 穫 試 験 地	18	高 内 B 種 収 穫 試 験 地
3	頭 野 A 種 収 穫 試 験 地	19	切 込 A 種 収 穫 試 験 地
4	山瀬作礼第1号 A 種 収 穫 試 験 地	20	尾 鈴 A 種 収 穫 試 験 地
5	山瀬作礼第2号 A 種 収 穫 試 験 地	21	白 水 A 種 収 穫 試 験 地
6	本 城 A 種 収 穫 試 験 地	22	多 羅 原 A 種 収 穫 試 験 地
7	越 差 A 種 収 穫 試 験 地	23	本 田 野 A 種 収 穫 試 験 地
8	久 間 横 山 A 種 収 穫 試 験 地	24	夏 木 A 種 収 穫 試 験 地
9	萱 瀬 山 A 種 収 穫 試 験 地	25	霧 島 A 種 収 穫 試 験 地
10	仁川第1号 A 種 収 穫 試 験 地	26	権 見 A 種 収 穫 試 験 地
11	仁川第2号 A 種 収 穫 試 験 地	27	青 井 岳 A 種 収 穫 試 験 地
12	金 峰 山 A 種 収 穫 試 験 地	28	万 膳 第 1 号 A 種 収 穫 試 験 地
13	菊 池 深 葉 A 種 収 穫 試 験 地	29	万 膳 第 2 号 A 種 収 穫 試 験 地
14	丸 山 A 種 収 穫 試 験 地	30	万 膳 第 3 号 A 種 収 穫 試 験 地
15	大 畑 B 種 収 穫 試 験 地	31	杉 崎 A 種 収 穫 試 験 地
16	湯 前 B 種 収 穫 試 験 地		

熊本営林局管内収穫試験地位置図

1. 内住山A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局直方経営区, 19 林班か小班。
福岡県嘉穂郡筑穂町大字内住字内住山 内住山国有林。

林分の種類 ヒノキ人工林

試験地の面積 2.27 ha {標準地 1.00 ha
外囲林 1.27 ha}

担当者の官氏名およびその担任期間

1938 (昭. 13) 年 3 月～	技 師	日 高	敏
1950 (昭. 25) 年 2 月～	技 官	光 本	政 光
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井	守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地理的位置 福岡県嘉穂, 粕屋郡界ショウケ越 北東。
2. 海 拔 高 500 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北, 中。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

直方営林署福地苗畑観測所 (直方市大字永満寺, 本試験地までの距離, 2.5 km, 海拔高 50 m) の観測値である。

1. 年平均気温 12.7°C
2. 年平均降水量 1,621 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 19.2°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 76%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 15日, 平年初雪 12月上旬, 平年終雪 3月中旬,
積雪日数 ……
最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 70日, 平年初霜 11月中旬, 平年晩霜 3月下旬。

3. 風

平均風速度 5.0 *m/sec.* 最大風速度 20.0 *m/sec.*

最多風向 W。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 花崗岩。
3. 土壌の種類および深度 砂壤土, 深度 中。
4. 土壌の縦断面 ……
5. 植 生 サカキ。
6. 落葉枯枝の堆積 5.0 *cm*

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1910年のヒノキ造林地。

1938年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1938年3月 第1回 毎木調査, 林齢28年。

1950年2月 第2回 毎木調査, 林齢40年。

1955年10月 第3回 毎木調査, 林齢45年。

IV 直径階別本数分配表

1938年3月			1950年2月			1955年10月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
2	4	56	2	4		2	4	
4	5	228	4	5		4	5	13
6	6	459	6	6	111	6	6	64
8	7	591	8	8	230	8	8	166
10	8	921	10	9	636	10	9	415
12	9	390	12	10	729	12	10	637
14	10	116	14	10	440	14	10	656
16	10	39	16	11	151	16	11	331
18	11	5	18	12	61	18	12	116
20	12	5	20	12	31	20	12	55
22	12	2	22	13	11	22	13	28
			24	13	5	24	13	16
			26	14	1	26	14	6
						28	14	1
計		2812	計		2406	計		2504

注：樹高は樹高曲線により求めたので直径対樹高相関表は作成しない（以下同様）。

V 総括表

項目	細径木 (2~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	胸高直径cm		樹高m		断面積 m ²	材積 m ³
											範囲	平均	範囲	平均		
1938年3月調査	2,761	18.002	90.244	51	1.145	6.706				2,812	2~22	8.8	4~12	7.4	19.147	96.950
1950年2月調査	2,146	21.480	124.017	259	6.207	39.688	1	0.053	0.376	2,406	6~26	11.7	6~14	9.5	27.740	164.081
1955年10月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	1,951	21.591	125.100	546	13.125	83.957	7	0.380	2.686	2,504	4~28	12.9	4~14	9.9	35.096 7.356 1.226 3.90	211.743 47.662 7.944 4.23

注：材積は昭和5年熊本営林局作成の立木幹材材積表より求めた（以下同様）。

2. 背 振 山 A 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局佐賀経営区, 18 林班ち小班。

佐賀県神埼郡背振村大字服巻字背振山 背振山国有林。

林 分 の 種 類 スギ人工林。

試験地の面積 0.50 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1937 (昭. 12) 年 3 月

桑 原 忠

1951 (昭. 26) 年 9 月

技 官 内 田 正 也

1954 (昭. 26) 年 2 月

" 長 友 安 男

1955 (昭. 30) 年 1 月～現在

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 福岡県境背振山 (1,055 m) の中腹。
2. 海 抜 高 800 m
3. 傾斜方向および傾斜度 西北西 5°~10°傾斜。
4. 地 貌 やや平坦。
5. 隣接地の状況 同様なスギ人工林。

B. 気 候

背振山観測所 (佐賀県神埼郡背振村, 本試験地までの距離 2 km, 海拔高 1,055 m) および括弧内の数値は佐賀測候所 (佐賀県佐賀市赤松町, 本試験地までの距離 20.0 km, 海拔高 5.5 m) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 15.3°C
2. 年平均降水量 2,400 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4~10月 20.9°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 75%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降 雪 日 数 34日, 平年初雪 12月5日, 平年終雪 3月15日,

積 雪 日 数 ……

最 深 雪 ……

2. 霜

降霜日数 63日, 平年初霜 11月15日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 (2.0m/sec), 最大風速度 (32.7m/sec),

最多風向 (NE)。

D. 土壤の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 花崗岩

3. 土壤の種類および深度 砂質壤土, 深度 浅。

4. 土壤の縦断面

A 層 20.0 cm

B 層 30.0~50.0 cm

5. 植 生 サンショウ, 灌木なし。

6. 落葉枯枝の堆積 1.0 cm

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1911年のスギ造林地。

1937年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1937年3月 第1回 毎木調査, 林齢26年。

1951年9月 第2回 毎木調査, 林齢40年。

1954年2月 第3回 毎木調査, 林齢43年。

IV 直径階別本数分配表

1937年3月			1951年9月			1954年2月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
6	7	7	6	7	2	6		
8	8	9	8	8	2	8		
10	9	24	10	10	7	10		
12	10	46	12	11	16	12	11	9
14	11	71	14	12	26	14	12	15
16	12	133	16	13	35	16	13	39
18	13	130	18	14	40	18	14	33
20	13	127	20	14	83	20	14	59
22	14	63	22	15	79	22	15	77
24	15	39	24	15	104	24	15	93
26	15	17	26	16	86	26	16	82
28	16	7	28	16	87	28	16	87
30	16	2	30	17	47	30	17	56
			32	17	31	32	17	40
			34	18	18	34	18	30
			36	18	9	36	18	16
			38	18	4	38	18	6
						40	19	4
						42	19	2
計		675	計		676	計		648

V 総括表

項目	細径木 (6~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)		
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³
1937年3月調査	314	3.734	22.946	984	28.264	200.894	52	2.950	22.726
1951年9月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率%	106	1.304	8.726	682	24.076	184.218	556	36.578	298.154
1954年2月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率%	48	0.666	4.512	602	21.224	162.542	622	42.478	347.822

項 目	大 径 木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	胸高直径cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
					範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1937年 3 月 調 査				1,350	6~30	17.7	7~16	12.4	34.948	246.566
1951年9月 調 査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同 上 成長率%	8	0.908	7.584	1,352	6~38	23.7	7~18	15.0	62.866 27.918 1.994 4.08	498.682 252.116 18.008 4.83
1954年 2 月 調 査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同 上 成長率%	24	2.920	24.928	1,296	12~42	25.1	11~19	15.5	67.288 4.422 2.211 3.40	539.804 41.122 20.561 3.96

3. 頭野A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局佐賀経営区，2林班 い1小班。

佐賀県鳥栖市田代町大字拙比字頭野 頭野国有林。

林分の種類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.50ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1937 (昭. 12) 年 3 月～		桑 原 忠
1948 (昭. 23) 年 12 月～	技 官	内 田 正 也
1954 (昭. 29) 年 3 月～	"	長 友 安 男
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地理的位置 鹿児島本線田代駅の北西，佐賀，福岡県境権現山南麓。
2. 海 拔 高 530 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南西 10～17° 傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹部よりやや谷間。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

佐賀測候所（佐賀県佐賀市赤松町，本試験地までの距離28km，海拔高5.5m）の観測値である。

1. 年平均気温 15.2°C
2. 年平均降水量 1,754mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 80%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 16.2日， 平年初雪 12月17日， 平年終雪 3月6日，

積雪日数 ……

最深雪 11cm

2. 霜

降霜日数 51.1日， 平年初霜 11月13日， 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 2.0m/sec, 最大風速度 32.7m/sec, 最多風向 NE。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 花崗岩
3. 土壌の種類および深度 壤土, 深度 浅く, いくぶん乾燥気味である。
4. 土壌の縦断面 ……

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1910年の造林地。

1937年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1937年 第1回 毎木調査, 林齢27年。

1948年12月 第2回 毎木調査, 林齢38年。

間伐をした様子であるが, その本数, 収獲材積は不明。

1954年2月 第3回 毎木調査, 林齢44年。

試験地の周囲が明らかでなかつたので前回との比較ができず, 新設試験地として取り扱う。

IV 直径階別本数分配表

1937年3月			1948年12月			1954年3月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
4	5	7	4			4		
6	6	65	6	6	4	6		
8	7	172	8	7	35	8	8	1
10	8	295	10	8	120	10	9	9
12	9	391	12	9	271	12	10	35
14	10	326	14	10	289	14	10	102
16	11	181	16	10	307	16	11	163
18	11	68	18	11	198	18	12	236
20	12	18	20	12	114	20	12	190
22	12	6	22	12	46	22	13	104
24	13	1	24	13	8	24	13	62
			26	13	4	26	14	25
			28	14	1	28	14	9
						30	14	5
計		1,530	計		1,397	計		941

V 総括表

項 目	細 径 木 (4～14cm)			小 径 木 (16～24cm)			中 径 木 (26～36cm)			計						
	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断 面 積 m ²	材 積 m ³
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1937 年 3 月 調 査	2,512	25.626	138.268	548	12.418	72.970				3,060	4～24	12.2	5～13	8.3	38.044	211.238
1948年12月調査	1,438	17.284	95.570	1,346	33.810	203.964	10	0.548	3.660	2,794	6～28	14.8	6～14	9.9	51.642	303.194
期間内総成長量															13.598	91.956
1ヵ年間の成長量															1.133	7.663
同上成長率 (%)															2.53	2.98
1954 年 3 月 調 査	294	4.082	23.760	1,510	44.024	287.778	78	4.470	31.740	1,882	8～30	18.5	8～15	11.8	52.576	343.278

4. 山瀬作礼第1号A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局唐津経営区，8林班と内小班。

佐賀県東松浦郡浜崎町大字山瀬作礼字山瀬作礼，山瀬作礼国有林。

林分の種類 スギ人工林

試験地の面積 0.20 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1941（昭. 16）年3月

{ 吉岡守衛
小夏成章

1951（昭. 26）年3月

技官 { 弓削晃
新井健二郎

1955（昭. 30）年1月～現在

技官 細井守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技官 細井守

年 月 1955（昭. 30）年3月

A. 位置

1. 地理的位置 唐津から南東15 km，作礼山の西麓。
3. 海拔高 520 m
4. 傾斜方向および傾斜度 西 15°傾斜。
4. 地貌 中腹。
5. 隣接地の状況 北，峯筋にて，ザツ，アカマツ，人工林。
東南，同様なスギ人工林。
西，民有原野。

B. 気候

佐賀測候所（佐賀県佐賀市赤松町，本試験地までの距離26 km，海拔高5.5 m）の観測値である。

1. 年平均気温 15.2°C
2. 年平均降水量 1,754 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 80%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪口数 16.2日， 平年初雪 12月17日， 平年終雪 3月6日，

積雪日数 ……

最深雪 11 cm

2. 霜

降霜日数 51.5日, 平年初霜 11月13日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 2.0 *m/sec*, 最大風速度 32.7 *m/sec*, 最多風向 NE。

D. 土壤の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 花崗岩, 珪石。

3. 土壤の種類および深度 B_D型, 深度 深。

4. 土壤の縦断面

L 2.0 *cm*

F 1.0 *cm*

H 2.0 *cm*

A 10.0 *cm*

B 30.0 *cm* +

5. 植 生 フジカズラ, サカキ, ネズミサシ, クス, ヤマツツジ。

6. 落葉枯枝の堆積 1.5~2.0 *cm*

7. 土壤の組成 団粒, 堅果状。

8. 土壤の酸度 強い。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1914年の造林地。

1941年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1941年 3月 第1回 毎木調査, 林齢 27年。

1951年 3月 第2回 毎木調査, 林齢 37年。

1955年 10月 第3回 毎木調査, 林齢 41年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1941年3月			1951年3月			1955年10月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
4	6	1	4	6		4		
6	7	12	6	7	6	6	7	4
8	8	33	8	8	23	8	8	15
10	9	53	10	9	28	10	10	21
12	10	66	12	10	39	12	11	29
14	11	90	14	11	45	14	12	39
16	12	54	16	12	63	16	13	53
18	13	42	18	13	50	18	14	46
20	13	20	20	13	46	20	14	52
22	14	4	22	14	24	22	15	37
24	15	3	24	15	19	24	15	22
26	15		26	15	3	26	16	15
28	16	1	28	16	5	28	16	8
30	16	1	30	16	1	30	17	3
						32	17	4
						34	18	1
計		380	計		352	計		349

Ⅴ 総 括 表

項 目	細 径 木 (4~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1941年3月 調 査	1,275	13.745	83.350	615	15.355	107.160	10	0.660	5.210	1,900	4~30	13.6	6~16	10.7	29.760	195.720
1951年3月 調 査	705	7.430	44.875	1,010	28.785	204.685	45	2.690	21.020	1,760	4~30	16.1	7~16	11.7	38.905	270.580
期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上の成長率 (%)															9.145 0.915 2.67	74.860 7.486 3.21
1955年10月 調 査	540	5.900	38.770	1,050	31.360	237.820	155	9.570	77.525	1,745	6~34	17.7	7~18	13.1	46.830	354.115
期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上の成長率 (%)															7.925 1.585 3.70	83.535 16.707 5.35

5. 山瀬作礼第2号A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇 所	熊本営林局唐津経営区, 84林班に内小班。 佐賀県東松浦郡浜崎町大字山瀬作礼字山瀬作礼 山瀬作礼国有林。		
林分の種類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	0.20 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1941 (昭. 16) 年3月～		{ 吉 岡 守 衛 小 夏 成 章	
1951 (昭. 26) 年3月～	技 官	{ 弓 削 晃 新 井 健 二 郎	
1955 (昭. 30) 年1月～現在	"	細 井 守	

II 試験地の立地

記載者官氏名	技 官 細 井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 唐津から南東に 15 km 作礼山の南西麓。
2. 海 拔 高 700 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南西 12°傾斜。
4. 地 貌 中腹の平坦部, 中央は湿地帯。
5. 隣接地の状況 北 民有原野。
東, 南, 西 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

佐賀測候所 (佐賀県佐賀市赤松町, 本試験地までの距離 26 km, 海拔高 5.5 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.2°C
2. 年平均降水量 1,754 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 80%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪
降雪日数 16.2日, 平年初雪 12月17日, 平年終雪 3月6日,
積雪日数 ……
最深雪 11 cm

2. 霜

降霜日数 51.1日, 平年初霜 11月13日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 2.0 *m/sec*, 最大風速度 32.7 *m/sec*,

最多風向 NE。

D. 土壤の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 花崗岩, 珪石。

3. 土壤の種類および深度 B_D型, 深度 深。

4. 土壤の縦断面

L 0.5 *cm*

F 0.5 *cm*

H 1.0 *cm*

A₁ 12.0 *cm*

A₂ 4.0 *cm*

B 30.0 *cm*

5. 植 生 サカキ, フジカズラ, ネズミサシ, クス, ヤマツツジ。

6. 落葉枯枝の堆積 0.5~1.0 *cm*

7. 根系の分布 B層 15.0 *cm* 程度まで細根の分布が少し見受けられる。

8. 土壤の組成 団粒, 堅果状。

9. 土壤の酸度 強い。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1914年の造林地

1941年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1941年3月 第1回 毎木調査, 林齢27年。

1951年3月 第2回 毎木調査, 間伐を实行, 林齢37年。

1955年10月 第3回 毎木調査, 林齢41年。

IV 直径階別本数分配表

1941年3月			1951年3月					1955年10月		
直径階 cm	樹 高 m	総 数	直径階 cm	樹 高 m	総 数	伐採木	残存木	直径階 cm	樹 高 m	総 数
6	7	6	6	7	1	1		6		
8	9	13	8	9	3	3		8		
10	10	26	10	10	8	7	1	10	11	1
12	11	58	12	11	21	9	12	12	12	8
14	12	121	14	12	58	10	48	14	13	23
16	12	94	16	12	98	26	72	16	14	45
18	13	48	18	13	78	8	70	18	14	57
20	14	25	20	14	73	11	62	20	15	66
22	15	6	22	15	35	2	33	22	16	50
24	15	1	24	15	17	2	15	24	16	23
			26	16	5		5	26	17	6
			28	16	1		1	28	17	6
								30	18	1
								32	18	1
計		398	計		398	79	319	計		287

V 総 括 表

項 目	細 径 木 (6~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1941年3月 調 査	1,120	14.025	94.325	870	20.855	146.945				1,990	6~24	14.6	7~15	11.8	34.880	241.270
1951年3月 調 査	455	6.055	40.990	1,505	41.745	304.245	30	1.635	13.145	1,990	6~28	17.4	7~16	12.9	49.435	358.380
期間内総成長量															14.555	117.110
1ヵ年間の成長量															1.456	11.711
同上成長率(%)															3.45	3.91
1951年3月 伐採木	150	1.645	10.865	245	6.195	44.175				395	6~24	15.4	7~15	12.1	7.840	55.040
伐 採 率 (%)										19.8					15.9	15.4
残 存 木	305	4.410	30.125	1,260	35.550	260.070	30	1.635	13.145	1,595	10~28	17.9	10~16	13.1	41.595	303.340
1955年10月 調 査	160	2.260	16.730	1,205	36.850	295.245	70	4.195	35.710	1,435	10~32	19.3	11~18	14.7	43.305	347.685
期間内総成長量															1.710	44.345
1ヵ年間の成長量															0.342	8.869
同上成長率(%)															0.81	2.72

6. 本城 A 種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所	熊本営林局唐津経営区, 4 林班ら小班。 佐賀県東松浦郡北波多村大字本城字本城 本城国有林。		
林分の種類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	0.25 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1940 (昭. 15) 年11月～	技手	{ 吉岡 守衛 石川 雅文	
1951 (昭. 26) 年2月～	技官	{ 弓削 晃 新井 健二郎	
1955 (昭. 30) 年10月～現在	"	細井 守	

II 試験地の立地

記載者官氏名	技官 細井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年3月

A. 位置

1. 地理的位置 唐津から南方 12 km 岸岳の西麓。
2. 海拔高 200 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南西 5°傾斜。
4. 地 貌 中腹部尾根下。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林に取りかこまれているが南西の一隈は昭和 32 年度にヒノキを植栽した部分林。

B. 気 候

佐賀測候所 (佐賀県佐賀市赤松町, 本試験地までの距離 24 km, 海拔高 5.5 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.2°C
2. 年平均降水量 1,754 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 80%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数	16.2日,	平年初雪	12月17日,	平年終雪	3月6日,
積雪日数	……				
最深雪	11 cm				
2. 霜

降霜日数 51.1日, 平年初霜 11月13日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 2.0 *m/sec*, 最大風速度 32.7 *m/sec*,

最多風向 NE。

D. 土壤の性質

1. 地 質 第三紀層。

2. 岩石の種類 頁岩, 白色砂岩。

3. 土壤の種類および深度 B_c型, 深度 中。

4. 土壤の縦断面

L 2.0 *cm*

F 2.0 *cm*

H 1.0 *cm*

A 8.0 *cm*

B 30.0 *m*

5. 植 生 シダ, サカキ。

6. 落葉枯枝の堆積 2.0 *cm*

7. 根 系 の 分 布 B層 20.0*cm* 程度まで細根の分布を認む。

8. 土 壌 の 組 成 団粒, 堅果状。

9. 土 壌 の 酸 度 強酸性。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1908年の造林地。

1940年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1940年 第1回毎木調査, 間伐を实行, 林令 32 年。

1951年 第2回毎木調査, 林令 43 年。

1955年 第3回毎木調査, 林令 47 年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1940年11月					1951年2月			1955年10月		
直径階 cm	樹高 m	総数	伐採木	残存木	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
10	10	2	1	1	10	11		16	14	1
12	11	7	4	3	12	12		18	14	8
14	12	20	10	10	14	13	1	20	15	18
16	12	60	17	43	16	14	3	22	16	22
18	13	55	11	44	18	14	15	24	16	39
20	14	91	24	67	20	15	26	26	17	40
22	15	51	4	47	22	16	29	28	17	44
24	15	28	2	26	24	16	51	30	18	36
26	16	10	2	8	26	17	40	32	18	16
28	16	2		2	28	17	45	34	19	6
30					30	18	17	36	19	3
32					32	18	12	38	20	1
34	18	1		1	34			40	20	1
					36	19	1			
					38	20				
					40	20	1			
計		327	75	252	計		241	計		235

Ⅴ 総括表

項 目	細径木 (10~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)			大径木 (38~50cm)			計						
	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径cm 範 囲	平均	樹 高 m 範 囲	平均	断面積 m ²	材 積 m ³
1940年11月 調 査 同 上 伐 採 木 伐 採 率(%)	116 60	1.612 0.828	10.944 5.620	1,140 232	34.684 6.476	257.528 47.256	52 8	2.980 0.424	24.136 3.424				1,308 300 22.9	10~34 10~28	19.3 17.8	10~18 10~16	13.6 13.1	39.276 7.728 19.7	292.608 56.300 19.2
伐 採 存 木	56	0.784	5.324	908	28.208	210.272	44	2.556	20.712				1,008	10~34	19.7	10~18	13.7	31.548	236.308
1951年2月 調 査 期 間 内 総 成 長 量 1ヵ年間の成長量 同 上 成長率(%)	4	0.060	0.460	496	18.676	151.880	460	28.652	244.912	4	0.504	4.604	964	14~40	24.8	13~20	16.4	47.892 16.344 1.634 4.11	401.856 165.548 16.555 5.19
1955年10月 調 査 期 間 内 総 成 長 量 1ヵ年間の成長量 同 上 成長率(%)				352	13.560	110.524	580	38.060	327.976	8	0.956	8.804	940	16~40	26.5	14~20	16.8	52.576 4.684 0.937 1.86	447.304 45.448 9.090 2.14

7. 越 差 A 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

箇 所	熊本営林局武雄経営区, 36林班は小班。 佐賀県伊万里市山代町大字峰字越差 越差国有林。		
林 分 の 種 類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	1.00 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1937 (昭. 12) 年11月～		小 幡	進
1942 (昭. 17) 年10月～		泊 太	春
1949 (昭. 24) 年 2 月～	技 官	長 井 啓 三	
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守	

II 試験地の立地

記載者官氏名	技 官 細 井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 松浦線東山代駅の北西 10km。
2. 海 抜 高 500m。
3. 傾斜方向および傾斜度 北東 5～30° 傾斜。
4. 地 貌 尾根沿い。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

佐賀測候所 (佐賀市赤松町, 本試験地までの距離 40km, 海拔高 10m) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 15.2°C
2. 年平均降水量 1,754 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 80%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 16.2日, 平年初雪 12月17日, 平年終雪 3月6日,
積雪日数 …… 最深雪 11cm

2. 霜

降霜日数 51.1日, 平年初霜 11月13日, 平年晩霜 4月10日

3. 風

平均風速度 2.0 m/sec, 最大風速度 32.7 m/sec,

最多風向 NE

D. 土壌の性質

1. 地 質 第三紀層。
2. 岩石の種類 玄武岩。
3. 土壌の種類および深度 B_D(d) 型, 埴土, 深度 深。
4. 土壌の縦断面



5. 植 生 ヤブニツケイ, シロダモ, ヒサカキ, ネズミモチ, コニテルギ, トウゲシバ, フユイチゴ。
6. 落葉枯枝の堆積 1~2 cm。
7. 根系の分布 A 細根多し。 B₁ 細根多し。 B₂ 細根あり。
8. 土壌の組成

	粗砂 %	細砂 %	微砂 %	粘土 %
A	4	31	34	31
B ₁	3	14	30	53
B ₂	5	9	38	47

9. 土壌の化学的成分

	置換石灰(%)	炭素量(%)	全窒素量(%)
A	0.04	5	0.4
B ₁	0.04	—	—
B ₂	0.03	—	—

10. 土壌の酸度

A	4.0
B ₁	4.2
B ₂	4.1

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1911年の造林地。

1937年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1937年11月 第1回 毎木調査, 林齢26年

1942年10月 間伐を实行, 林齢31年

1949年2月 第2回 毎木調査, 林齢38年

1954年2月 第3回 毎木調査, 林齢43年

28

熊本営林局管内收穫試驗地調查中間報告書

熊本営林局管内收穫試驗地調查中間報告書

[illegible]

8. 久間横山A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局武雄経営区, 44林班か小班。
佐賀県藤津郡塩田町大字久間字久間横山 久間横山国有林。

林分の種類 ヒノキ, スギ人工林。

試験地の面積 1.00 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1950 (昭. 25) 年 3 月～	技 官	浦 田 浩 男
1954 (昭. 29) 年 2 月～	"	長 友 安 男
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 武雄市の東南 6 km, 飯盛山の北西。
2. 海 抜 高 300 m
3. 傾斜方向および傾斜度 東 20° 傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 南および北は同様なヒノキ, スギ人工林。
西はアカマツ, カシ, その他広葉樹萌芽林。

B. 気 候

佐賀測候所 (佐賀県佐賀市赤松町, 本試験地までの距離 22.0 km, 海拔高 5.5 m) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 15.2°C
2. 年 平 均 降 水 量 1,754 mm
3. 成 長 期 間 お よ び そ の 平 均 温 度 4～10月 21.1°C
4. 年 降 水 量 に 対 す る 成 長 期 間 の 降 水 量 百 分 比 80%

C. 気 候 上 の 特 殊 現 象

1. 雪

降 雪 日 数 16.2日, 平年初雪 12月17日, 平年終雪 3月6日,
積 雪 日 数 ……
最 深 雪 11 cm

2. 霜

降 霜 日 数 51.1日, 平年初霜 11月13日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 2.0 m/sec, 最大風速度 32.7 m/sec,

最多風向 NE。

D. 土壌の性質

1. 地 質 火山性岩石上に火山灰が堆積。

2. 岩石の積類 輝石安山岩。

3. 土壌の種類および深度 B_A—B_C 型, 定積土, 埴壤土,
深度 中。

4. 土壌の縦断面

F 1.5 cm

H 1.0 cm

B₁ 5.0 cm { 内外暗褐色, 暗橙〜黄褐色, 腐植に乏し。
漸, 埴土, 細粒状構造, 潤, 軟, 細根多し。B₂ 30.0 cm 漸, 埴土, 微粒状構造, 潤, 細根多し。B₃ 30.0 cm + { 粘土色, 橙〜黄褐色, 石礫を含む埴土,
無構造, 潤, 根系なし。

5. 植 生 コジイ多し。

6. 落葉枯枝の堆積 1.5 cm

7. 根系の分布 B₁ 細根多し。B₂ 細根多し。B₃ 根系なし。

8. 土壌の組成

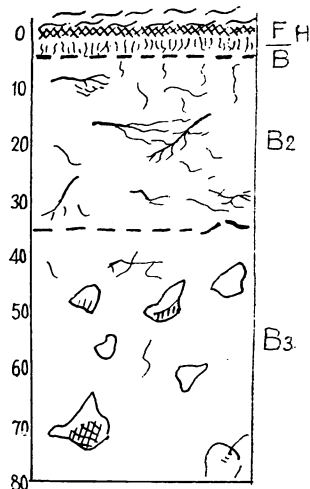
	粗砂	細砂	微砂	粘土	土 性
B ₁	6%	18%	45%	31%	軽 埴 土
B ₂	5%	10%	43%	42%	"

9. 土壌の化学的成分

	置換石灰	炭素量	全窒素量
B ₁	0.02%	6%	0.4%
B ₂	0.07%	1%	—

10. 土壌の酸度

B ₁	3.9	B ₂	3.9
----------------	-----	----------------	-----

Profile No. 8
BC- Soil

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1937年の造林地 ヒノキ, スギ混交林。

1950年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1950年 3 月 第 1 回 毎木調査 ヒノキのみ調査, 林令13年。

2 cm 未満のスギ 309 本混交。

1954年 2 月 第 2 回 毎木調査 ヒノキのみ調査, 林令17年。

2〜4 cm 32 本, 2 cm 以下 242 本スギ混交。

IV 直径階別本数分配表

1950年3月			1954年2月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
2	3	30	2		
4	4	129	4		
6	6	246	6	6	79
8	7	269	8	7	112
10	7	183	10	7	193
12	8	73	12	8	234
14	9	9	14	9	191
16	10		16	10	121
			18	10	49
			20	11	12
計		939	計		991

V 総括表

項 目	細 径 木 (2~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			計						
	本 数	断 面 積 m^2	材 積 m^3	本 数	断 面 積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸 高 直 径 cm		樹 高 m		断 面 積 m^2	材 積 m^3
								範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1950年3月 調 査	939	4.622	20.790				939	2~14	7.5	3~9	6.3	4.622	20.790
1954年2月 調 査	809	7.888	38.612	182	4.057	22.886	991	6~20	11.9	6~11	8.1	11.945	61.498
期 間 内 総 成 長 量												7.323	40.708
1ヵ年間の成長量												1.831	10.177
同 上 成 長 率 (%)												22.10	24.74

9. 萱瀬山A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局長崎経営区, 1林班は小班。
長崎県大村市黒木郷字萱瀬山 萱瀬山国有林。

林分の種類 スギ人工林。

試験地の面積 0.5 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1950 (昭. 25) 年12月～

技 官 浦 田 浩 保

1955 (昭. 30) 年1月～現在

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 長崎県大村半島, 多良岳西麓 (多良岳 982 m)。
2. 海 拔 高 430 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西 25°傾斜。
4. 地 貌 北西に面したる谷沿いの中腹部。
5. 隣接地の状況 同様なスギ, ヒノキ人工林。

B. 気 候

長崎営林署黒木事業所 (長崎海洋気象台依頼の観測所, 長崎県大村市黒木郷黒木, 本試験地までの距離 2.5 km, 海拔高 340 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.0°C (1955～1957年)
2. 年平均降水量 3,063.9 mm (1955～1957年)
3. 成長期間およびその平均温度 ……
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 ……

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 20日, 平年初雪 12月5日, 平年終雪 3月10日。

積雪日数 ……

最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 30日, 平年初霜 10月20日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 3.2 *m/sec*, 最大風速度 20.0 *m/sec*,
最多風向 N。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 安山岩。
3. 土壌の種類および深度 壤土, 深度 深。
4. 土壌の縦断面 ……
5. 植 生 地床植物: タブ, フユイチゴ, テイカカズラ。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1914年の造林地。

1950年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1950年12月 第1回 毎木調査, 林齢36年。

1953年 間伐を实行 (本数, 材積だけ掲上)。

1954年 間伐を实行 (本数, 材積だけ掲上)。

1955年10月 第2回 毎木調査, 林齢41年。

IV 直径階別本数分配表

1950年12月			1953年				1954年				1955年10月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階	樹高	総数	伐採木	直径階	樹高	総数	伐採木	直径階 cm	樹高 m	総数
4											4	6	1
6	8	9									6	8	2
8	10	6									8	10	2
10	11	13									10	11	2
12	12	13									12	12	8
14	13	18									14	13	6
16	14	36									16	14	15
18	15	66									18	15	21
20	16	68									20	16	30
22	16	64									22	16	47
24	17	83									24	17	45
26	18	77									26	18	60
28	18	73									28	18	49
30	19	36									30	19	55
32	19	24									32	19	42
34	20	26									34	20	18
36	20	14									36	20	23
38	21	4									38	21	18
40	21	1									40	21	8
42	21	1									42	21	1
											44	22	1
											46	22	1
計		632				98				79	計		455

V 総括表

項 目	細径木 (4~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)		
	本数	断面積 m^2	材積 m^3	本数	断面積 m^2	材積 m^3	本数	断面積 m^2	材積 m^3
1950年12月調査	118	1.164	8.302	634	21.456	180.754	500	33.688	307.152
1953年伐採木									
1954年伐採木									
1955年10月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	42	0.432	3.094	316	11.202	94.592	494	34.888	319.204

項 目	大径木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m^2	材積 m^3	本数	胸高直径cm 範 囲 平均	樹高m 範 囲 平均	断面積 m^2	材積 m^3		
1950年12月調査	12	1.436	13.840	1,264	6~42	23.2	8~21	17.5	57.744	510.048
1953年伐採木				196						43.400
1954年伐採木				158						59.480
1955年10月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	58	7.008	67.748	910	4~46	26.5	6~22	17.5	53.530	484.638 77.470 15.494 3.12

10. 仁川第1号A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局熊本経営区, 84林班は小班。
熊本県飽託郡河内芳野村大字野出字仁川, 仁川国有林。

林分の種類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.34 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1948 (昭. 23) 年～	技 官	加 藤 禎 一
1953 (昭. 28) 年 9 月～	"	本 田 健 二 郎
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地理的位置 熊本市の北西 8 km, 九万岳東麓。
2. 海 拔 高 340 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南, 緩斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 西南は民地 (農耕地), 東北は国有林 スギ, ヒノキ人工林。

B. 気 候

熊本地方気象台 (熊本市京町二丁目, 本試験地までの距離 7.0 km, 海拔高 39.2 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.5°C
2. 年平均降水量 1.762 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.3°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 78.3%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 12.7日, 平年初雪 12月21日, 平年終雪 3月2日,
積雪日数 ……
最深雪 13 cm

2. 霜

降霜日数 76.7日, 平年初霜 11月6日, 平年晩霜 4月13日

3. 風

平均風速度 1.7 m/sec, 最大風速度 38.7 m/sec,

最多風向 N。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 輝石安山岩

3. 土壌の種類および深度 埴壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1931年の造林地。

1948年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1948年 第1回 毎木調査, 材積だけ掲上, 林齢17年。

1953年 第2回 毎木調査, 林齢22年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1953年9月		
直径階 cm	樹 高 m	総 数
6	7	3
8	9	26
10	10	89
12	11	174
14	12	171
16	12	100
18	13	63
20	14	16
22	15	4
計		646

Ⅴ 総 括 表

項 目	細径木(6~14cm)			小径木(16~24cm)			計							
	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	胸高直径cm 範囲 平均	樹 高 m 範囲 平均	断面積 m ²	材 積 m ³			
1948 年 調 査												129.412		
1953年9月調査	1,362	15.994	106.424	538	12.556	87.809	1,900	6~22	13.57~15	11.5	28.550	194.233		

11. 仁川第2号A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所	熊本営林局熊本経営区, 84林班に小班。		
	熊本県飽託郡河内芳野村大字野出字仁川, 仁川国有林。		
林分の種類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	0.24 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1948 (昭. 23) 年	技 官	加 藤 禎 一	
1953 (昭. 28) 年	"	本 田 健 二 郎	
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守	

II 試験地の立地

記載者官氏名	技 官	細 井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年 3 月	

A. 位 置

1. 地理的位置 熊本市の北西 8 km, 九万岳東麓。
2. 海 拔 高 350 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南 緩斜。
4. 地 貌 尾根下中腹。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林, 南面は民地 (農耕地)。

B. 気 候

熊本地方気象台 (熊本市京町二丁目, 本試験地までの距離 7 km, 海拔高 39.2 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.5°C
2. 年平均降水量 1,762 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.3°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 78.3%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数	12.7日,	平年初雪	12月21日,	平年終雪	3月2日,
積雪日数	……				
最深雪	13 cm				

2. 霜

降霜日数	76.7日,	平年初霜	11月6日,	平年晩霜	4月13日。
------	--------	------	--------	------	--------

3. 風

平均風速度 1.7 m/sec, 最大風速度 38.7 m/sec,

最多風向 N。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 角閃石安山岩。

3. 土壌の種類および深度 埴壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1931年の造林地。

1948年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1948年 第1回 毎木調査, 材積だけ掲上, 林令17年。

1953年 第2回 毎木調査, 林令22年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1953年9月		
直径階 cm	樹 高 m	総 数
6	7	7
8	9	45
10	10	122
12	11	161
14	12	138
16	12	59
18	13	16
20	14	2
計		550

Ⅴ 総 括 表

項 目	細径木 (6～14cm)			小径木 (16～24cm)			計					
	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	胸高直径cm 範囲 平均	樹 高 m 範囲 平均	断面積 m ²	材 積 m ³	
1948 年 調 査												150.000
1953年9月調査	1,971	21.454	141.529	321	6.904	47.213	2,292	6～20	12.3 ^{7～14}	11.0	28.358	188.742

12. 金峰山A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局熊本経営区, 91林班は1小班。
 熊本県飽託郡河内芳野村大字岳字金峰山 金峰山国有林。
 林分の種類 ヒノキ人工林。
 試験地の面積 0.25 ha
 担当者の官氏名およびその担任期間
 1953 (昭. 28) 年9月～ 技 官 本 田 健 二 郎
 1955 (昭. 30) 年1月～現在 " 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
 年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 熊本市の北西8.0 kmの金峰山南麓。
2. 海 拔 高 450 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南 急斜。
4. 地 貌 中腹部。
5. 隣接地の状況 北西 同様なヒノキ人工林。
南東 スギ, ヒノキ人工林。

B. 気 候

熊本地方気象台 (熊本市京町二丁目, 本試験地までの距離7.0 km, 海拔高39.2 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.5°C
2. 年平均降水量 1,762 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.3°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 78.3%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 12.7日, 平年初雪 12月21日, 平年終雪 3月2日,
 積雪日数 ……
 最深雪 13 cm

2. 霜

降霜日数 76.7日, 平年初霜 11月6日, 平年晩霜 4月13日。

3. 風

平均風速度 1.7 m/sec, 最大風速度 38.7 m/sec,

最多風向 N。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 角閃石安山岩。
3. 土壌の種類および深度 埴壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1925年の造林地。

1953年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1953年 9 月 第1回毎木調査, 林齢28年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1953年9月		
直径階 cm	樹 高 m	総 数
2	4	3
4	5	44
6	6	86
8	7	128
10	8	130
12	9	105
14	10	35
16	10	17
18	11	5
計		553

V 総 括 表

項 目	細径木 (2~14cm)			小径木 (16~24cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
								範囲	平均	範囲	平均		
1953年 9 月調査	2,124	14.760	75.084	88	1.876	10.832	2,212	2~18	9.3	4~11	7.6	16.636	85.916

13. 菊池深葉A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局菊池経営区, 11林班は小班。

熊本県菊池郡菊池市大字原字菊池深葉 菊池深葉国有林。

林分の種類 スギ人工林。

試験地の面積 1.00 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1948 (昭. 23) 年～

技 官 三 島 茂

1953 (昭. 28) 年12月～

" 長 井 啓 三

" 東 史

1955 (昭. 30) 年1月～

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 水源, 深葉の2川にはさまれた山頂部。

2. 海 拔 高 600 m

3. 傾斜方向および傾斜度 南, 平坦。

4. 地 貌 山頂部の小くぼ地。

5. 隣接地の状況 同様なスギ, ヒノキ人工林。

B. 気 候

菊池営林署, 河原畑観測所 (熊本県菊池郡菊池市大字下河原, 本試験地までの距離2.3 km, 海拔高120m) および熊本地方気象台 (熊本市京町二丁目, 本試験地までの距離22km, 海拔高39.2m) の観測値である。括弧内の数値は熊本地方気象台のもの。

1. 年 平 均 気 温 16.9°C

2. 年平均降水量 2,271.5 mm

3. 成長期間およびその平均温度 3～9月 19.2°C

4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 86%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 (12.7日), 平年初雪 (12月21日), 平年終雪 (3月2日),

積雪日数 ……

最深雪 (13 cm)

2. 霜

降霜日数 (76.7日), 平年初霜 (11月6日), 平年晩霜 (4月13日)。

3. 風

平均風速度 (1.7 m/sec), 最大風速度 (38.7 m/sec),

最多風向 (N)。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 基岩, 輝石安山岩。

3. 土壌の種類および深度 埴壤土, 深度 中。

4. 土壌の縦断面

A₁ 12.0 cm

A₂ 22.0 cm

B 28.0 cm

5. 植 生 アオキ, クロモジ, ウツギ, コアカン。

6. 落葉枯枝の堆積 1.0 cm

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1911年の造林地。

1948年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1948年 第1回 毎木調査, 材積だけ掲上, 林齢37年。

1953年12月 第2回 毎木調査, 林齢42年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1953 年 12 月		
直径階 cm	樹 高 m	総 数
6	8	1
8	10	33
10	11	69
12	12	110
14	13	115
16	14	127
18	15	158
20	16	138
22	16	126
24	17	86
26	18	69
28	18	64
30	19	41
32	19	35
34	20	25
36	20	15
48	21	12
50	21	7
52	21	2
54	22	—
56	22	1
計		1,234

Ⅴ 総 括 表

項 目	細径木 (6~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)		
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3
1948 年 調 査									
1953 年 12 月 調 査	328	3.725	26.897	635	19.591	163.231	249	17.114	156.242

項 目	大径木 (38~50cm)			計						
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	胸高直径cm 範囲 平均	樹 高 m 範囲 平均	断面積 m^2	材 積 m^3		
1948 年 調 査									318.000	
1953 年 12 月 調 査	22	2.684	25.893	1,234	6~46	19.9	8~22	15.3	43.114	372.263

14. 丸山 A 種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇 所	熊本営林局水俣経営区, 43林班を小班。 熊本県芦北郡湯浦町字丸山 丸山国有林。		
林分の種類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	1.72 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1931 (昭. 6) 年10月～		上 野 衛 一	
1941 (昭. 16) 年10月～		日 高 敏	
1951 (昭. 26) 年10月～	技 官	小 林 四 郎	
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守	

II 試験地の立地

記載者官氏名	技 官 細 井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地理的位置 湯浦駅の東方 8 km。
2. 海 抜 高 500 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西 緩斜。
4. 地 貌 尾根筋。
5. 隣接地の状況 北, 南 同様なスギ, ヒノキ人工林。

B. 気 候

水俣観測所 (水俣市陣内町, 本試験地までの距離 15km, 海拔高 3 m) の観測値である。

1. 年平均気温 16.7°C
2. 年平均降水量 2,015.5 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 21.8°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 76.9%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数	……,	平年初雪	12月30日,	平年終雪	2月22日,
積雪日数	……				
最深雪	……				

2. 霜

降霜日数	……,	平年初霜	12月24日,	平年晩霜	3月19日。
------	-----	------	---------	------	--------

3. 風

平均風速度 …… 最大風速度 ……

最多風向 ……

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 輝石安山岩。

3. 土壌の種類および深度 壤土、深度 深。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1914年3月の造林地。

1931年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1931年10月 第1回毎木調査、林令17年。

1941年10月 第2回毎木調査、林令27年。

1951年11月 第3回毎木調査、間伐を实行、林令37年。

1956年11月 第4回毎木調査、林令42年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1931年10月			1941年10月			1951年10月					1956年10月		
直径階 cm	樹高 m	総 数	直径階 cm	樹高 m	総 数	直径階 cm	樹高 m	総 数	伐採木	残存木	直径階 cm	樹高 m	総 数
4	6	89	4	6	21	4					4		
6	7	431	6	7	69	6	7	20	3	17	6	8	4
8	9	1,474	8	9	203	8	9	150	55	95	8	9	31
10	10	1,480	10	10	516	10	10	375	110	265	10	11	81
12	11	469	12	11	1,138	12	11	696	131	565	12	12	277
14	12	101	14	12	911	14	12	794	100	694	14	13	432
16	12	5	16	12	517	16	12	676	67	609	16	14	610
			18	13	151	18	13	416	32	384	18	14	540
			20	14	47	20	14	258	9	249	20	15	435
			22	15	18	22	15	97		97	22	16	284
			24	15	4	24	15	36		36	24	16	161
						26	16	15		15	26	17	78
						28	16	4		4	28	17	35
						30	17	5		5	30	18	19
											32	18	7
											34	19	4
											36	19	1
計		4,049	計		3,595	計		3,542	507	3,035	計		2,999

V 総 括 表

項 目	細 径 木 (4~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
											範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1931年10月 調 査	2,351	15.827	98.027	3	0.059	0.392				2,354	4~16	9.1	6~12	9.4	15.886	98.419
1941年10月 調 査	1,662	18.712	123.967	428	9.641	66.818				2,090	4~24	12.8	6~15	11.2	28.353	190.785
期間内総成長量															12.467	92.366
1ヵ年間の成長量															1.247	9.237
同上成長率(%)															5.64	6.39
1951年10月 調 査	1,183	13.864	92.337	862	21.862	156.174	14	0.812	6.576	2,059	6~30	14.6	7~17	11.8	36.538	255.087
期間内総成長量															8.185	64.302
1ヵ年間の成長量															0.819	6.430
同上成長率(%)															2.52	2.88
伐 採 木	232	2.424	15.916	63	1.422	9.856				295	6~20	12.5	7~14	11.1	3.846	25.772
伐 採 率(%)										14.3					10.5	10.1
残 存 木	951	11.440	76.421	799	20.440	146.318	14	0.812	6.576	1,764	6~30	14.9	7~17	12.0	32.692	229.315
1956年10月 調 査	480	6.154	45.002	1,180	33.579	267.042	84	5.039	43.194	1,744	6~36	17.6	8~19	14.1	44.772	355.238
期間内総成長量															12.080	125.923
1ヵ年間の成長量															2.416	25.185
同上成長率(%)															6.24	8.62

14. 丸山A種収穫試験地

15. 大畑B種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局人吉経営区，56林班わ小班。
熊本県人吉市大畑字大畑 大畑国有林。

林分の種類 スギ人工林。

試験地の面積 2.16 ha $\left\{ \begin{array}{ll} \text{B種間伐試験区} & 0.100 \text{ ha} \\ \text{C} & \text{〃} & 0.100 \text{ ha} \\ \text{外 囲 林} & 0.246 \text{ ha} \\ \text{そ の 他} & 1.714 \text{ ha} \end{array} \right.$

担当者の官氏名およびその担任期間

1950（昭. 25）年～

技 官 大 和 美 清

1955（昭. 30）年1月～現在

〃 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955（昭. 30）年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 肥薩線矢岳駅の東方 6 km
2. 海 拔 高 690 m
3. 傾斜方向および傾斜度 東北 13°傾斜。
4. 地 貌 尾根下の上部。
5. 隣接地の状況 同様なスギ人工林。

B. 気 候

人吉営林署春口苗畑観測所（人吉市下田代町，本試験地までの距離 10 km，海拔高 180 m）の観測値。

1. 年平均気温 11.7°C
2. 年平均降水量 3,014.6 mm
3. 成長期間およびその平均温度 ……
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 ……

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 5日， 平年初雪 12月5日， 平年終雪 3月3日，

積雪日数 ……

最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 67日， 平年初霜 11月1日， 平年晩霜 4月28日。

3. 風

平均風速度 1.7 m/sec, 最大風速度 26.2 m/sec,

最多風向 N

D. 土壌の性質

1. 地 質 洪積層。
2. 岩石の種類 安山岩。
3. 土壌の種類および深度 壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1899年の造林地（数次に分け植栽す）。

その後5回の手入と2回の間伐および1回の枝打を実行。

1917年に寺崎博士が間伐度合比較試験林としてB種間伐試験区、C種間伐試験区および外囲林に分けて設定された。

第1回 間伐および調査, 林齢18年。

1922年 第2回 間伐および調査, 林齢23年。

その後第1回間伐が行われた様子なるも資料なし。

1950年6月 間伐および調査, 林齢51年。

1956年11月 毎木調査, 林齢57年。

C 種 間 伐 試 験 区

1917年 第1回 間伐および調査, 林齢18年。

1922年 第2回 間伐および調査, 林齢23年。

その後1回間伐が行われた模様であるが資料なし。

1950年6月 間伐および調査, 林齢51年。

1956年11月 毎木調査, 林令57年。

注：

1. 1917年～1922年調査は研修, 1927（昭, 2）年3月
「寺崎博士実行に係る間伐試験林概要」による。
2. 1950年6月 調査は人吉営林署プリントによる。
1917年～1922年は本数材積以外は不明。
1922年～1950年までの本数減について資料なし。

Ⅳ 直径階別本数分配表

B 種間伐区

C 種間伐区

1950 年			1956 年 11 月			1950 年			1956 年 11 月		
直径階 cm	樹 高 m	総 数	直径階 cm	樹 高 m	総 数	直径階 cm	樹 高 m	総数	直径階 cm	樹 高 m	総数
18	22	2	18			28	24	3	28		
22	22	3	22			30	24	7	30	25	4
24	22	4	24	24	1	34	24	9	32	25	6
28	24	2	26	24	1	36	25	7	34	26	6
30	24	11	28	25	2	40	25	3	36	26	3
34	24	6	30	25	4	42	26	4	38	26	4
36	25	11	32	25	2	46	26	4	40	27	3
40	25	9	34	26	3	54	27	1	42	27	2
42	25	4	36	26	4				44	27	4
46	26	5	38	26	2				46	27	2
48	26	1	40	27	7				48	27	2
			42	27	7				50	27	1
			44	27	2				56	27	1
			46	27	4						
			48	27	2						
			50	27	2						
計		58	計		43	計		38	計		38

V 総 括 表

B 種 間 伐 区

項 目	小 径 木 (18~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			大 径 木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1917年調査 伐採率 (%)										3,360 1,230 36.6 2,130						210.280 63.020 30.0 147.260
1922年調査 伐採率 (%)										2,130 1,070 50.2 1,060		16.2		14.5		326.730 126.580 38.7 200.150 179.470 35.894 15.15
残存率 (%)												17.3		14.5		
期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率 (%)																
1950年調査 伐採率 (%)	90	3.460	39.000	300	25.650	295.550	190	26.970	307.190	580	18~48	34.0	22~27	24.4	56.080	641.740
伐採率 (%)	50	1.650	18.880	80	6.880	78.830	20	2.510	28.520	150	18~40	30.1	22~25	23.6	11.040	126.230
残存率 (%)	40	1.810	20.120	220	18.770	216.720	170	24.460	278.670	25.9 430	24~48	36.0	22~27	24.6	45.040	19.7 515.510
1956年11月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率 (%)	10	0.450	5.470	160	13.000	156.590	260	38.000	455.910	430	24~50	38.2	24~27	26.3	51.450 6.410 1.068 2.21	617.970 102.460 17.077 3.01

C 種 間 伐 区

項 目	中 径 木 (26~36cm)			大 径 木 (38~50cm)			特大径木 (52~70cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1917年調査 伐採率 (%)										2,950		12.4		10.9		195.590
伐採率 (%)										1,510						75.210
残存率 (%)										51.2						38.5
										1,440		13.9		10.9		120.380
1922年調査 伐採率 (%)										1,440		18.2		16.4		288.810
伐採率 (%)										870						146.860
残存率 (%)										60.4						50.9
期間内総成長量										570		20.0		17.3		141.950
1ヵ年間の成長量																168.430
同上成長率 (%)																33.686
																16.46
1950年調査	260	22.090	253.610	110	15.960	183.660	10	2.290	26.360	380	28~54	35.9	24~27	24.8	40.340	463.630
1956年11月調査 期間内総成長量	190	16.150	194.350	180	26.070	311.630	10	2.460	28.140	380	30~56	38.3	25~27	26.1	44.680	534.120
1ヵ年間の成長量															4.340	70.490
同上成長率 (%)															0.723	11.748
															1.70	2.35

16. 湯 前 B 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局多良木経営区, 19林班の小班。
 熊本県球磨郡湯前町大字湯前 湯前国有林。
 林 分 の 種 類 ヒノキ人工林。

試験地の面積	0.457 <i>ha</i>	$\left\{ \begin{array}{ll} \text{B種間伐試験区} & 0.096 \text{ } ha \\ \text{C種間伐試験区} & 0.096 \text{ } ha \\ \text{外 囲 林} & 0.265 \text{ } ha \end{array} \right.$

担当者の官氏名およびその担任期間

1950 (昭. 25) 年	技 官	長 井 啓 三
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
 年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 湯前町石垣山北東麓。
2. 海 抜 高 600 *m*
3. 傾斜方向および傾斜度 北 25° 傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 スギ, ヒノキ幼齡林。

B. 気 候

人吉測候所 (人吉市城本町, 本試験地までの距離 31.8 *km*, 海拔高 146.7 *m*) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 14.9°C
2. 年平均降水量 2,533.5 *mm*
3. 成長期間およびその平均温度 5～10月 21.5°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 72.3%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数	13.8日,	平年初雪	12月26日,	平年終雪	3月14日,
積雪日数	……				
最深雪	……				

2. 霜

降霜日数	118日,	平年初霜	11月13日,	平年晩霜	4月9日。
------	-------	------	---------	------	-------

3. 風

平均風速度 1.9 *m/sec*, 最大風速度 29.2 *m/sec*,

最多風向 WNW。

D. 土壌の性質

1. 地 質 古生層。
2. 岩石の種類 石灰岩。
3. 土壌の種類および深度 砂質壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1902年 特別経営時代の經常部造林地, 1町歩当り植栽本数 6,000 本。

1917年 5 月 寺崎博士が間伐度合比較試験林としてB種間伐試験区, C種間伐試験区および外囲林に分けて設定された。

第1回 間伐および調査, 林齢15年。

1922年11月 第2回 間伐および調査, 林齢20年。

1928年10月 第3回 間伐および調査, 林齢26年。

1950年 6 月 毎 木 調 査, 林齢48年。

1956年11月 毎 木 調 査, 林齢54年。

C 種 間 伐 試 験 区

1917年 5 月 第1回 間伐および調査, 林齢15年。

1923年11月 第2回 間伐および調査, 林齢21年。

1931年 第3回 間伐および調査, 林齢29年。

1950年 6 月 毎 木 調 査, 林齢48年。

1956年11月 毎 木 調 査, 林齢54年。

注：

1. 1917年～1922年の調査は研修, 1927 (昭. 2) 年 3 月「寺崎博士実行に係る間伐試験林の概要」による。
2. 1950年の調査は多良木営林署の資料による。
1917年, 1922年は本数材積以外は不明。

Ⅳ 直径階別本数分配表

B 種間伐区

C 種間伐区

1950 年 11 月					1956 年 11 月		
直径階 cm	樹高 m	総数	伐採木	残存木	直径階 cm	樹高 m	総数
22	18	1	1		22		
24	19	1		1	24		
26	19	6	2	4	26	19	1
28	20	8	1	7	28	19	5
30	20	11	1	10	30	20	12
32	20	5		5	32	20	3
34	20	13		13	34	20	7
36	21	5		5	36	21	10
38	21	3		3	38	21	7
40	21	2		2	40	21	4
					42	21	1
計		55	5	50	計		50

1950 年					1956 年		
直径階 cm	樹高 m	総数	伐採木	残存木	直径階 cm	樹高 m	総数
22	18	1		1	22	18	1
24	19				24	19	
26	19				26	19	
28	20	1		1	28	20	
30	20	6	1	5	30	20	2
32	20	9		9	32	20	4
34	20	7		7	34	20	7
36	21	4		4	36	21	7
38	21	7		7	38	21	5
40	21	1		1	40	21	6
42	21	2		2	42	21	3
44	21	1		1	44	21	1
					46	22	1
					48	22	
					50	22	1
計		39	1	38	計		38

V 総 括 表
B 種 間 伐 区

項 目	小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			大 径 木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1917 年 調 査 伐 採 木 伐 採 率(%) 残 存 木										4,104 1,885 45.9 2,219						128.042 35.636 27.8 92.406
1922 年 調 査 伐 採 木 伐 採 率(%) 残 存 木 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率 (%)										2,219 1,177 53.0 1,042						216.073 95.229 44.1 120.844 123.667 24.733 16.04
1928 年 調 査 伐 採 木 伐 採 率(%) 残 存 木 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率 (%)										1,042 448 43.0 594						222.197 82.749 37.2 139.448 101.353 16.892 9.85
1950 年 6 月 調 査 伐 採 木 伐 採 率(%) 残 存 木 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率 (%)	21 10 11	0.865 0.396 0.469	8.250 3.698 4.552	500 42 458	38.333 2.854 35.479	369.073 27.792 341.281	52 52	6.167 6.167	59.490 59.490	573 52 9.1 521	22~40 22~32 24~40	31.5 28.0 31.8	18~21 18~20 19~21	20.0 19.6 20.0	45.365 3.250 7.2 42.115	436.813 31.490 7.2 405.323 297.365 13.517 4.69
1956 年 11 月 調 査 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率 (%)				396	32.333	311.719	125	14.948	144.146	521	26~42	33.8	19~21	20.3	47.281 5.166 0.738 1.65	455.865 50.542 7.220 1.68

C 種 間 伐 区

項 目	小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			大 径 木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
1917 年 調 査 伐 採 木 伐 採 率(%) 残 存 木										4,156						137.208
										2,271						52.115
										54.6						38.0
										1,885						85.093
1922 年 調 査 伐 採 率(%) 残 存 木 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率(%)										1,885						235.198
										1,166						124.708
										61.9						53.0
										719						110.490
																150.105
1928 年 調 査 伐 採 率(%) 残 存 木 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率(%)										719						201.656
										313						80.083
										43.5						39.7
										406						121.573
																91.166
1950 年 6 月 調 査 伐 採 率(%) 残 存 木 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率(%)	10	0.396	3.698	281	23.458	225.594	115	14.052	135.073	406	22~44	34.2	18~21	20.3	37.906	364.365
				10	0.740	7.146				10	30	30	20	20.0	0.740	7.146
	10	0.396	3.698	271	22.718	218.448	115	14.052	135.073	2.5					2.0	2.0
										396	22~44	34.3	18~21	20.3	37.166	357.219
																242.792
1956 年 11 月 調 査 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率(%)																11.036
																4.54
1956 年 11 月 調 査 期 間 内 総 成 長 量 1 ヲ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率(%)	10	0.396	3.698	208	18.865	181.781	177	23.448	225.292	395	22~50	36.7	18~22	20.6	42.709	410.771
															5.543	53.552
															0.792	7.650
															1.98	1.99

17. 瑞海野 A 種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局多良木経営区, 78林班ろ小班。
 熊本県球磨郡五木村字瑞海野 瑞海野国有林。
 林分の種類 ヒノキ人工林。
 試験地の面積 0.50 ha
 担当者の官氏名およびその担任期間
 1950 (昭. 25) 年～ 技官 長井 啓三
 1955 (昭. 30) 年1月～現在 " 細井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技官 細井 守
 年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位置

1. 地理的位置 球磨, 八代郡界大通峠北東。
2. 海拔高 930 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南東20°傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

五木村観測所 (熊本県球磨郡五木村字板木, 本試験地までの距離 22 km, 海拔高 246m) の観測値である。

1. 年平均気温 13.3°C
2. 年平均降水量 2,516 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 20.3°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 78.8%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪
 降雪日数 8日, 平年初雪 12月23日, 平年終雪 3月12日,
 積雪日数 ……
 最深雪 ……
2. 霜
 降霜日数 ……, 平年初霜 11月10日, 平年晩霜 3月30日。
3. 風

平均風速度 3~5 *m/sec*, 最大風速度 20~25 *m/sec*,
最多風向 NW。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 安山岩
3. 土壌の種類および深度 壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1910年の造林地。

1950年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1950年 第1回毎木調査, 林齢40年。

1955年11月 第2回毎木調査, 林齢45年。

IV 直径階別本数分配表

1 9 5 0 年			1 9 5 5 年 1 1 月		
直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数	直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数
6	6	13	6	6	8
8	8	34	8	8	24
10	9	50	10	9	67
12	10	100	12	10	90
14	10	222	14	10	210
16	11	268	16	11	286
18	12	231	18	12	261
20	12	161	20	12	142
22	13	73	22	13	87
24	13	33	24	13	24
26	14	6	26	14	5
28	14	1	28	14	
30			30		
計		1,192	計		1,204

V 総 括 表

項 目	細 径 木 (6~14 <i>cm</i>)			小 径 木 (16~24 <i>cm</i>)			中 径 木 (26~36 <i>cm</i>)			計						
	本 数	断面積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³	本 数	断面積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³	本 数	断面積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³	本 数	胸高直径 <i>cm</i>		樹 高 <i>m</i>		断面積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³
											範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1 9 5 0 年 調 査	838	10.296	59.594	1,532	41.190	267.010	14	0.760	5.372	2,384	6~28	16.3	6~14	11.0	52.246	331.976
1955年11月 調 査	378	4.744	27.660	1,972	58.072	379.746	58	3.164	22.348	2,408	8~28	18.3	8~14	11.7	65.980	429.754
枯 損 木	62	0.381	2.060							62	4~14	8.6	5~10	8.2	0.381	2.060
期間内総成長量															14.115	99.838
1ヵ年間の成長量															2.823	19.968
同上成長率(%)															4.78	5.24

18. 高内B種収獲試験地

I 試験地の位置および担当者

簡 所 熊本営林局甘木経営区, 21林班へ小班。
福岡県甘木市大字下秋月字高内 高内国有林。
林分の種類 ヒノキ人工林。

試験地の面積	9.25 ha	$\left\{ \begin{array}{ll} \text{第1分地 (B度)} & 0.1045 \text{ ha} \\ \text{第2分地 (C度)} & 0.1018 \text{ ha} \\ \text{外 囲 林} & 0.264 \text{ ha} \\ \text{そ の 他} & 8.7797 \text{ ha} \end{array} \right.$

担当者の官氏名およびその担任期間

1950 (昭. 25) 年～	技 官	宮 崎 博 憲
1955 (昭. 30) 年1月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 福岡県嘉穂, 朝倉郡界をなせる古処山山系, 高内山の中腹。
2. 海 抜 高 450 m
3. 傾斜方向および傾斜度 東南 20°傾斜。
4. 地 貌 中腹部。
5. 隣接地の状況 北, 東は同様なスギ, ヒノキ民有人工林。
南, 西は広葉樹天然生林。

B. 気 候

日田営林署小石原担当区鼓口苗畑観測所 (福岡県朝倉郡小石原村字南原, 本試験地までの距離 22.5 km, 海拔高 466 m) の観測値である。

1. 年平均気温 11.6°C
2. 年平均降水量 3,577 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 ……
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 ……

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数	27日,	平年初雪	12月中旬,	平年終雪	3月中旬,
積雪日数	……				
最深雪	……				

2. 霜

降霜日数 103日, 平年初霜 11月中旬, 平年晩霜 4月下旬。

3. 風

平均風速度 4.2 *m/sec*, 最大風速度 34.0 *m/sec*,

最多風向 S E。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 花崗岩

3. 土壌の種類および深度 B_B 型壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1901年の造林地, 1町歩当り植栽本数 6,000 本。

その後 9 回の手入れと 1 回の枝打および 2 回の蔓切りを実行。

1917年 5 月 寺崎博士が間伐種比較試験林として第 1 分地(B度), 第 2 分地(C度)および外囲林に分けて設定された。

第 1 回 間伐および調査, 林齢16年。

1922年10月 第 2 回 間伐および調査, 林齢21年。

1928年10月 第 3 回 間伐および調査, 林齢27年。

1950年 6 月 毎木調査および風倒木伐採, 林齢49年。

1956年11月 毎木調査, 林齢55年。

第 2 分地 (C 度)

1917年 5 月 第 1 回 間伐および調査, 林齢16年。

1925年 4 月 第 2 回 間伐および調査, 林齢24年。

1933年 6 月 第 3 回 間伐および調査, 林齢32年。

1950年 6 月 毎木調査, 林齢49年。

1956年11月 毎木調査, 林齢55年。

注:

1. 1917~1928年の調査は研修, 1927 (昭. 2) 年 3 月「寺崎博士実行に係る間伐試験林の概要」および営林署で印刷したプリントによる。

2. 1950年 6 月の調査は日田営林署の資料による。

1917年, 1922年, 1928年は本数, 材積, 平均胸高直径, 平均樹高以外は不明。

IV 直径階別本数分配表

B 種間伐区

1 9 5 0 年					1 9 5 6 年		
直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数	伐採木	残存木	直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数
14	13	1	1		14		
16	13	1	1		16		
18	14	8	3	5	18	14	2
20	14	12	7	5	20	16	2
22	15	22	5	17	22	15	10
24	16	18	1	17	24	16	21
26	17	25		25	26	17	16
28	16	9		9	28	18	16
30	17	1		1	30	18	8
32	18	4		4	32	18	6
					34	20	1
					36	18	1
計		101	18	83	計		83

C 種間伐区

1 9 5 0 年			1 9 5 6 年 1 1 月		
直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数	直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数
14			14	12	1
16	13	1	16		
18	13	1	18		
20	15	6	20	15	3
22	15	7	22	16	4
24	15	13	24	16	13
26	17	15	26	17	10
28	17	12	28	18	17
30	17	11	30	18	8
32	19	3	32	19	8
34	20	2	34	19	5
			36	21	2
計		71	計		71

V 総 括 表

B 種 間 伐 区

項 目	細 径 木 (14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
											範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1917年調査										4,660		9.1		6.2		90.536
伐 採 木										1,876		8.8		6.2		25.828
伐 採 率 (%)										40.3						28.5
残 存 木										2,784		9.1		6.2		64.708
1922年調査										2,784		13.0		8.7		148.077
伐 採 木										1,244		12.7		8.2		52.718
伐 採 率 (%)										44.7						35.6
残 存 木										1,540		13.3		9.3		95.359
期間内総成長量																83.369
1ヵ年間の成長量																16.674
同上成長率(%)																15.67
1928年調査										1,540		16.1		10.7		176.574
伐 採 木										526		14.8		10.4		48.469
伐 採 率 (%)										34.2						27.5
残 存 木										1,014		16.7		10.7		128.105
期間内総成長量																81.215
1ヵ年間の成長量																13.536
同上成長率(%)																9.96
1950年調査	10	0.144	1.100	584	21.541	169.703	373	21.761	182.746	967	14~32	23.7	13~18	15.7	43.446	353.549
伐 採 木	10	0.144	1.100	163	5.282	40.507				173	14~24	19.9	13~16	14.3	5.426	41.607
伐 採 率 (%)										17.9					12.5	11.8
残 存 木				421	16.259	129.196	373	21.761	182.746	794	18~32	24.2	14~18	16.1	38.020	311.942
期間内総成長量																225.444
1ヵ年間の成長量																10.247
同上成長率(%)																4.26
1956年11月調査				335	13.818	111.694	459	29.426	256.986	794	18~36	26.1	14~20	16.8	43.244	368.680
期間内総成長量															5.224	56.738
1ヵ年間の成長量															0.871	9.456
同上成長率(%)															2.14	2.78

C 種 間 伐 区

項 目	細 径 木 (14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
											範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1917年調査										4,342		7.9		6.0		69.980
伐採木										2,269		6.7		5.8		34.440
伐採率(%)										52.3						49.2
残存木										2,073		9.1		6.2		35.540
1925年調査										2,073		13.3		9.6		131.768
伐採木										943		12.4		9.1		41.827
伐採率(%)										45.5						31.7
残存木										1,130		14.2		9.6		89.941
期間内総成長量																96.228
1ヵ年間の成長量																12.029
同上成長率(%)																14.38
1933年調査										1,100		18.5		11.7		173.350
伐採木										393		17.5		11.7		58.183
伐採率(%)										35.7						33.6
残存木										707		19.1		11.7		115.167
期間内総成長量																83.409
1ヵ年間の成長量																10.426
同上成長率(%)																7.92
1950年調査				275	10.688	82.937	422	26.876	229.715	697	16~34	26.0	13~20	16.3	37.564	312.652
期間内総成長量																197.485
1ヵ年間の成長量																8.977
同上成長率(%)																4.20
1956年11月調査	10	0.147	1.041	196	8.193	67.102	491	33.831	301.955	697	14~36	27.4	12~21	17.4	42.171	370.098
期間内総成長量															4.607	57.446
1ヵ年間の成長量															0.768	9.574
同上成長率(%)															1.93	2.80

19. 切込 A 種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

簡 所 熊本営林局延岡経営区, 47林班よ小班。
 大分県南海部郡宗目村大字重岡字切込 切込国有林。

林分の種類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 2.03 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1938 (昭. 13) 年 2 月～	
1943 (昭. 18) 年 2 月～	近 森 嘉 吉
1951 (昭. 26) 年 11 月～	技 官 光 本 政 光
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
 年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地理的位置 日豊線宗太郎駅西南方大分宮崎県境の三角点。
 海拔高 736 m の北麓および中腹部。
2. 海 拔 高 220～260 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北 10～30°傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 北, 西はスギの幼齡林。
 南, 東は昭和32年度伐跡地。

B. 気 候

延岡営林署南方苗畑観測所 (宮崎県延岡市大字南方字岡元, 本試験地までの距離 26.0 km, 海拔高 60 m) の 1956 年～1957 年の平均観測値および括弧内の数値は宮崎測候所 (宮崎市本町, 本試験地までの距離 78 km, 海拔高 8.4 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.1°C
2. 年平均降水量 2,467 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 20.8°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 82%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 …… , 平年初雪 …… , 平年終雪 …… ,

積雪日数 ……

最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 53日, 平年初霜 11月12日, 平年晩霜 3月20日。

3. 風

平均風速度 (2.3m/sec), 最大風速度 (59.2m/sec),

最多風向 (W)。

D. 土壌の性質

1. 地 質 古生層。

2. 岩石の種類 粘板岩, 砂岩, 珪岩, 片麻岩。

3. 土壌の種類および深度 礫質埴土, 深度 中。

4. 植 生 ヒサカキ, コバンノキ, ヤブコウジ, アオキ, ハマクサギ, ネズミモチ, ア
オガシ, クリノキ, タブノキ, サカキ, ヤブニツケイ, モミ, イヌガヤ, ク
ロキ, エンコウカエデ, ハイノキ, アラカシ, カゴノキ, イヌシデ, イヌビ
ワ, シキミ, アカメガシワ, ユズリハ。

5. 落葉枯枝の堆積 3cm

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1899年の造林地。

1938年に成長量を測定する目的で試験地を設定。

1938年2月 第1回毎木調査, 林齢39年。

1943年2月 第2回毎木調査, 林齢44年。

1951年11月 第3回毎木調査, 林齢53年。

1955年2月 間伐を実行。

1956年11月 第4回毎木調査および間伐木の選定。 { 延岡営林署 高 村 技 官
調 査 員 本 田 技 官

1957年10月 間伐を実行。

IV 直径階別本数分配表

1938年2月			1943年2月			1951年11月			1955年2月			1956年11月				
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	伐採木	直径階 cm	樹高 m	総数	伐採木	残存木
8	9	4	8	9	2	8	9	1	8			8				
10	10	15	10	11	16	10	11	7	10			10	11	3	2	1
12	11	89	12	12	75	12	12	17	12			12	12	20	13	7
14	12	305	14	13	241	14	13	48	14			14	13	36	19	17
16	12	656	16	14	529	16	14	152	16			16	14	103	44	59
18	13	803	18	14	735	18	14	317	18			18	14	269	88	181
20	14	760	20	15	751	20	15	480	20	15	1	20	15	386	70	316
22	15	543	22	16	599	22	16	473	22	16	32	22	16	438	27	411
24	15	238	24	16	362	24	16	408	24	16	19	24	16	403	9	394
26	16	98	26	17	170	26	17	288	26	17		26	17	320	2	318
28	16	29	28	17	44	28	17	159	28	17	2	28	17	231	1	230
30	17	11	30	18	16	30	18	68				30	18	113		113
32	17		32	18	8	32	18	26				32	18	54	2	52
34	18	1	34	19	2	34	19	9				34	19	8		8
						36	19	3				36	19	8		8
												38	20	4		4
計		3,552	計		3,550	計		2,456	計		54	計		2,396	277	2,119

V 総 括 表

74

項 目	細径木 (8~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			大径木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m^2	材積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材 積 m^3	本数	断面積 m^2	材積 m^3	本数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
1938年2月 調 査	203	2.876	19.592	1,478	43.800	323.715	68	3.870	31.211				1,749	8~34	18.9	9~18	13.4	50.546	374.518
1943年2月 調 査	165	2.312	17.093	1,466	45.362	363.531	118	6.744	57.599				1,749	8~34	19.6	9~19	14.8	54.418	438.223
期間内総成長量																		3.872	63.705
1ヵ年間の成長量																		0.774	12.741
同上成長率(%)																		1.48	3.14
1951年11月 調 査	36	0.488	3.595	901	30.859	249.627	272	16.306	139.489				1,209	8~36	22.0	9~19	15.6	47.653	392.711
1955年2月伐採木				26	1.038	8.584	1	0.061	0.510				27	20~28	22.9	15~17	16.0	1.099	9.094
伐 採 率 (%)													2.2					2.3	2.3
1956年11月 調 査	29	0.396	2.916	788	27.550	223.251	362	22.209	190.174	2	0.224	2.069	1,181	10~38	22.9	11~20	15.8	50.379	418.410
期間内総成長量																		3.825	34.793
1ヵ年間の成長量																		0.765	6.959
同上成長率(%)																		1.56	1.72
1957年10月伐採木	17	0.224	1.647	117	3.329	26.325	2	0.162	1.387				136	10~30	18.4	11~18	14.5	3.715	29.359
伐 採 率 (%)													11.5					7.4	7.0

20. 尾 鈴 A 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

箇 所	熊本営林局尾鈴経営区, 46林班ち小班。 宮崎県児湯郡川南町大字川南字尾鈴 尾鈴国有林。		
林 分 の 種 類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	0.50 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1937 (昭. 12) 年11月～			久 保 田 彦 三
1948 (昭. 23) 年～	技 官		東 正 就
1954 (昭. 29) 年 2 月～	"		松 尾 安 治
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"		細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名	技 官 細 井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 尾鈴山南麓。
2. 海 拔 高 300～360 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南 24～34.5°傾斜。
4. 地 貌 中腹から尾根に至る。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

日向営林署都農苗畑観測所 (宮崎県児湯郡都農町大字川北字名貫, 本試験地までの距離 9.0 km, 海拔高 34 m) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 18.1°C
2. 年 平 均 降 水 量 2,331 mm
3. 成 長 期 間 お よ び そ の 平 均 温 度 4～9 月 22.6°C
4. 年 降 水 量 に 対 す る 成 長 期 間 の 降 水 量 百 分 比 76.0%

C. 気 候 上 の 特 殊 現 象

1. 雪

降 雪 日 数	1 日,	平 年 初 雪	1 月 中 旬,	平 年 終 雪	2 月 上 旬,
積 雪 日 数	……				
最 深 雪	……				

2. 霜

Ⅳ 直径階別本数分配表

1937年11月			1953年		
直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数	直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数
4	5	15	4	5	
6	6	42	6	6	2
8	7	110	8	8	18
10	8	247	10	9	45
12	9	260	12	10	53
14	10	237	14	10	65
16	10	145	16	11	114
18	11	36	18	12	121
20	12	8	20	12	131
22	12	2	22	13	77
			24	13	24
			26	14	8
			28	14	1
計		1,102	計		659

Ⅴ 総 括 表

項 目	細 径 木 (4~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
											範 囲	平 均	範 囲	平 均		
1937年11月 調 査	1,822	18.436	99.376	382	8.320	48.340				2,204	4~22	12.0	5~12	8.8	26.756	147.716
1 9 4 8 年 調 査																210.000
1 9 5 3 年 調 査	366	4.098	23.722	934	27.002	176.268	18	0.972	6.876	1,318	6~28	17.1	6~14	11.3	32.072	206.866

21. 白水A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

簡 所 熊本営林局高鍋経営区，75林班ろ小班。
宮崎県児湯郡木城村大字白水字白水 白水国有林。

林 分 の 種 類 スギ人工林。

試験地の面積 0.123 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1948 (昭. 23) 年 8 月～	技 官	光 本 政 光
1952 (昭. 27) 年～	"	秋 山 智 英
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 木城村大字川原部落の西北方 4 km の地点。
2. 海 拔 高 180 m
3. 傾斜方向および傾斜度 南向 20°傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 同様なスギ，ヒノキ人工林。
(アカマツ，その他広葉樹が相当侵入して混交林のように見える。)

B. 気 候

高鍋営林署高城苗畑観測所 (宮崎県児湯郡木城村大字高城，本試験地までの距離 8 km，海拔高 90 m) および宮崎測候所 (宮崎市本町，本試験地までの距り 32.0 km，海拔高 8.4 m) の観測値である。括弧内の数値は宮崎測候所のもの。

1. 年 平 均 気 温 19.5°C
2. 年平均降水量 2,291 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～9 月 20.9°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 86.7%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪
降 雪 日 数 1.1 日， 平年初雪 1 月 21 日， 平年終雪 2 月 6 日，
積 雪 日 数 ……
最 深 雪 3 cm
2. 霜

降霜日数 40.5日, 平年初霜 11月21日, 平年晩霜 3月25日。

3. 風

平均風速度 2.3 *m/sec*, 最大風速度 59.2 *m/sec*, 最多風向 W。

D. 土壤の性質

1. 地 質 中生層。
2. 岩石の種類 玢岩, 石英斑岩。
3. 土壤の種類および深度 砂質壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1933年の造林地, 1948年8月に林分成長量を測定する目的で試験地を設定した。

1948年8月 第1回 毎木調査, 林齢15年。

1952年 第2回 " 林齢19年。

1957年10月 第3回 " 林齢24年。

IV 直径階別本数分配表

1948年8月			1952年			1957年10月		
直径階 <i>cm</i>	樹高 <i>m</i>	総数	直径階 <i>cm</i>	樹高 <i>m</i>	総数	直径階 <i>cm</i>	樹高 <i>m</i>	総数
2	4	1	2			2		
4	6	7	4	6	2	4	6	
6	7	11	6	7	4	6	8	1
8	8	21	8	8	17	8	10	7
10	10	51	10	10	22	10	11	14
12	11	89	12	11	55	12	12	36
14	12	77	14	12	67	14	13	57
16	13	51	16	13	72	16	14	43
18	14	9	18	14	31	18	15	64
20	14	6	20	14	30	20	16	25
22	15		22	15	9	22	16	25
24	15	1	24	15	3	24	17	14
			26	16	1	26	18	7
			28	16	1	28	18	1
						30	19	4
計		324	計		314	計		298

V 総 括 表

[illegible]

22. 多羅原A種收穫試験地

I 試験地の位置および担当者

簡 所 熊本営林局妻経営区, 18林班よ小班。

宮崎県東諸県郡国富町大字八代南俣字多羅原 多羅原国有林。

林 分 の 種 類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.99 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1936 (昭. 11) 年11月～		田 島 政 雄
1949 (昭. 24) 年 3 月～	技 官	土 元 敏
1953 (昭. 28) 年11月～	"	安 井 正 憲
1955 (昭. 30) 年 1 月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 東諸県郡盤木山の東南 (盤木山 711.2 m)。
2. 海 拔 高 350～400m
3. 傾斜方向および傾斜度 北, 東 30°傾斜。
4. 地 貌 尾根下の斜面上部。
5. 隣接地の状況 同様なスギ, ヒノキ人工林。

B. 気 候

建設省杣木観測所 (宮崎県東諸県郡国富町杣木, 本試験地までの距離 4 km, 海拔高 100m) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 18.0°C
2. 年平均降水量 3,322mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 23.4°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 87%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 5 日, 平年初雪 1 月10日, 平年終雪 2 月10日,

積雪日数 ……

最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 90日, 平年初霜 11月20日, 平年晩霜 4月10日。

3. 風

平均風速度 2.3 *m/sec*, 最大風速度 30.7 *m/sec*, 最多風向 W。

D. 土壤の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 砂岩。
3. 土壤の種類および深度 B_C型 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1905年3月の造林地。

1936年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1936年11月 第1回 毎木調査, 林齢31年。

1949年3月 第2回 毎木調査, 林齢44年。

1953年11月 第3回 毎木調査, 林齢48年。

IV 直径階別本数分配表

1936年11月			1949年3月			1953年11月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
8	9	1	8	9	2	8	9	2
10	10	1	10	11	4	10	11	
12	11	21	12	12	14	12	12	10
14	12	99	14	13	49	14	13	22
16	12	241	16	14	146	16	14	77
18	13	371	18	14	164	18	14	174
20	14	293	20	15	328	20	15	227
22	15	165	22	16	206	22	16	262
24	15	68	24	16	210	24	16	230
26	16	21	26	17	92	26	17	144
28	16	5	28	17	42	28	17	78
30	17	1	30	18	20	30	18	39
32	17	3	32	18	5	32	18	14
			34	19	5	34	19	7
			36	19	1	36	19	1
			38	20	1	38	20	1
			40	20	1	40	20	1
						42	21	1
						44	21	
計		1,290	計		1,290	計		1,290

V 総括表

項 目	細径木 (8~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)		
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³
1936年11月 調査	123	1.792	12.249	1,149	33.175	243.813	31	1.753	14.138
1949年3月 調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	70	0.964	7.112	1,065	35.097	282.897	166	9.941	85.160
1953年11月 調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	34	0.467	3.434	980	33.811	273.713	286	17.240	147.669

項 目	大 径 木 (38〜50cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
					範 囲	平均	範 囲	平均		
1936年11月 調 査				1,303	8〜32	18.7	9〜17	13.4	36.720	270.200
1949年3月 調 査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	2	0.241	2.223	1,303	8〜40	20.9	9〜20	15.2	46.243	377.392
									9.523	107.192
									0.794	8.933
									1.91	2.76
1953年11月 調 査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	3	0.382	3.554	1,303	8〜42	22.1	9〜21	15.6	51.900	428.370
									5.657	50.978
									1.131	10.196
									2.31	2.53

23. 本 田 野 A 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

簡 所 熊本営林局宮崎経営区, 65林班ろ₁小班。
宮崎県宮崎郡田野町大字本田野 本田野国有林。

林 分 の 種 類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 1.00 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1934 (昭. 9) 年10月～		横 溝 伝 男
1952 (昭. 27) 年12月～	技 官	吉 村 明
1955 (昭. 30) 年1月～現在	"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 鰐塚山から東北4 kmの南北に連なる尾根。
2. 海 抜 高 460 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西, 緩斜。
5. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 南東 スギ幼齡林, 他はヒノキ幼齡林。

B. 気 候

宮崎測候所 (宮崎市本町, 本試験地までの距離 18 km, 海拔高 8.4 m) の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 16.6°C
2. 年 平 均 降 水 量 2,542 mm
3. 成 長 期 間 お よ び そ の 平 均 温 度 4～10月 21.8°C
4. 年 降 水 量 に 対 す る 成 長 期 間 の 降 水 量 百 分 比 79.1%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降 雪 日 数 1.1日, 平年初雪 1月21日, 平年終雪 2月6日,
積 雪 日 数 ……
最 深 雪 3 cm

2. 霜

降 霜 日 数 40.5日, 平年初霜 1月21日, 平年晩霜 3月25日。

3. 風

平均風速度 2.3 *m/sec*, 最大風速度 59.2 *m/sec*, 最多風向 W。

D. 土壌の性質

1. 地 質 中生層。
2. 岩石の種類 砂岩, 頁岩。
3. 土壌の種類および深度 埴壌土, 深度 中。
4. 植 生 ヤブコウジ, マンリョウ, フユイチゴ。
5. 落葉枯枝の堆積 5 *cm*

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1913年の造林地, 1934年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1934年10月 第1回 毎木調査, 林齢21年。

1952年12月 第2回 " , " 39年。

1957年11月 第3回 " , " 44年。

注:

1934年～1952年までの本数減少の理由およびその材積が不明であるから1952年度の新設試験地として取り扱う。

IV 直径階別本数分配表

1934年10月			1952年12月			1957年11月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
6	6	4	6			6		
8	7	16	8			8	8	2
10	8	68	10	8	10	10	9	15
12	9	130	12	9	26	12	10	13
14	10	303	14	10	34	14	10	37
16	10	339	16	10	86	16	11	68
18	11	391	18	11	134	18	12	114
20	12	229	20	12	203	20	12	206
22	12	114	22	12	259	22	13	181
24	13	33	24	13	180	24	13	212
26	13	7	26	13	153	26	14	140
28	14	1	28	14	86	28	14	81
			30	15	35	30	15	41
			32	15	3	32	15	13
			34	16	1	34	16	3
			36	16		36	16	
			38	17	1	38	17	1
計		1,635	計		1,211	計		1,127

V 総括表

項 目	細径木 (6~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)			大径木 (36~50cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	胸高直径cm 範囲	平均	樹高m 範囲	平均	断面積 m ²	材積 m ³
1934年10月 調査	521	6.759	37.965	1,106	29.790	182.477	8	0.433	2.880				1,635	6~28	16.6	6~14	10.5	36.982	223.322
1952年12月 調査	70	0.896	5.002	862	29.506	188.146	278	16.225	111.175	1	0.113	0.898	1,211	10~38	21.8	9~17	12.6	46.740	305.221
1957年11月 調査	67	0.844	4.889	781	27.212	180.265	278	16.637	118.461	1	0.113	0.898	1,127	8~38	22.1	8~17	12.7	44.806	304.513

24. 夏木A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

簡 所	熊本営林局綾経営区, 35林班へ小班。 宮崎県西諸県郡須木村字夏木 夏木国有林。		
林分の種類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	0.85 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1936 (昭. 11) 年1月～		技 官	蓑 輪 満 夫 州 上 登
1947 (昭. 22) 年～		技 官	加 藤 禎 一
1953 (昭. 28) 年～		"	岩 元 守 男
1955 (昭. 30) 年～現在		"	細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 小白髪岳と国見岳を結ぶ峰筋の東面。
2. 海 拔 高 700 m
3. 傾斜方向および傾斜度 東南 20° 傾斜
4. 地 貌 尾根筋。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

須木村役場内観測所 (宮崎県西諸県郡須木村, 本試験地までの距離 11 km, 海拔高 350m) の観測値である。

1. 年平均気温 13.3°C
2. 年平均降水量 2,403 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 ……
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 ……

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 5日, 平年初雪 12月下旬, 平年終雪 3月上旬,
積雪日数 ……
最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 80日, 平年初霜 10月中旬, 平年晩霜 4月上旬。

3. 風

平均風速度 2.0 *m/sec*, 最大風速度 40.0 *m/sec*,

最多風向 N, E。

D. 土壤の性質

1. 地 質 中世代白亜紀の水成岩を基岩とした火山灰土壤。

2. 岩石の種類 粘板岩。

3. 土壤の種類および深度 火山灰土壤, 深度 浅。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1914年の造林地。

1936年1月に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1936年1月 第1回毎木調査, 林令22年生。

1947年 第2回毎木調査, 材積のみ掲上, 林齡33年。

1953年7月 第3回毎木調査, 間伐を実行, 林齡39年。

IV 直径階別本数分配表

1936年1月			1953年7月				
直径階 cm	樹 高 m	総 数	直径階 cm	樹 高 m	総 数	伐採木	残存木
6	7	22					
8	9	37	8	9	4	3	1
10	10	140	10	11	21	19	2
12	11	246	12	12	35	26	9
14	12	425	14	13	106	58	48
16	12	305	16	14	195	66	129
18	13	173	18	14	288	54	234
20	14	47	20	15	340	37	303
22	15	8	22	16	234	7	227
24	15	3	24	16	150	6	144
26	16		26	17	61		61
28	16	1	28	17	15		15
			30	18	1		1
			32	18			
			34	19	1		1
計		1,407	計		1,451	276	1,175

V 総 括 表

項 目	細 径 木 (6~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断 面 積 m ²	材 積 m ³	本数	断 面 積 m ²	材 積 m ³	本数	断 面 積 m ²	材 積 m ³	本数	胸高直径cm 範圍 平均	樹 高m 範圍 平均	断面積 m ²	材 積 m ³		
1936年1月調査	1,024	12.554	84.151	630	14.651	102.307	1	0.073	0.575	1,655	6~28 14.2	7~16 11.7	27.278	187.033		
1947年 調査																314.118
1953年7月調査	195	2.602	19.127	1,420	44.252	354.712	92	5.087	43.342	1,707	8~34 18.1	9~19 13.8	51.941	417.181		
1953年伐採木	125	1.589	11.615	200	5.179	40.664				325	8~24 15.9	9~16 13.6	6.768	52.279		
伐 採 率(%)										19.0			13.0	12.5		
1953年残存木	70	1.013	7.512	1,220	39.073	314.048	92	5.087	43.342	1,382	8~34 20.1	9~19 15.0	45.173	364.902		

25. 霧 島 A 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局霧島経営区，42林班を小班。

宮崎県北諸県郡荘内町大字西岳字霧島 霧島国有林。

林 分 の 種 類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.30 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1935 (昭. 10) 年10月～

吉 岡 実

雇 牧 伝 四

1952 (昭. 27) 年～

技 官 安 井 正 憲

1955 (昭. 30年) 1月～現在

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 霧島山高千穂峰東南方山麓。

2. 海 抜 高 440 m

3. 傾斜方向および傾斜度 北東，緩斜。

4. 地 貌 山麓。

5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

都城測候所（都城市中原町，本試験地までの距離 18 km，海拔高 155 m）の観測値である。

1. 年 平 均 気 温 15.3°C

2. 年平均降水量 2,821.9 mm

3. 成長期間およびその平均温度 4～9月 21.1°C

4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 76.8%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 3日. 平年初雪 1月26日, 平年終雪 2月12日,

積雪日数 ……

最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 72日, 平年初霜 11月5日, 平年晩霜 4月18日。

3. 風

平均風速度 3.0 *m/sec*, 最大風速度 35.0 *m/sec*, 最多風向 N, NE。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……
2. 岩石の種類 輝石安山岩。
3. 土壌の種類および深度 黒色土, 壤土, 深度 中。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1915年の造林地。

1935年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1935年10月 第1回 毎木調査, 林齢20年。

1952年 第2回 毎木調査, 林齢37年。

1957年11月 第3回 毎木調査, 林齢42年。

注:

1935～1952年調査の間に原因不明の本数減少あり。

IV 直径階別本数分配表

1935年10月			1952年			1957年11月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
4	6	7	8	9	1	8	9	1
6	7	8	10	10	5	10	11	4
8	9	19	12	11	10	12	12	9
10	10	61	14	12	47	14	13	32
12	11	116	16	12	85	16	14	73
14	12	146	18	13	102	18	14	101
16	12	160	20	14	82	20	15	92
18	13	55	22	15	55	22	16	61
20	14	29	24	15	26	24	16	44
22	15	19	26	16	23	26	17	23
24	15	2	28	16	2	28	17	10
26	16	3	30	17	4	30	18	3
			32	17	3	32	18	2
						34	19	2
						36	19	2
計		625	計		445	計		459

V 総 表 表

項 目	細 径 木 (4~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	胸高直径cm 範囲	平均	樹高m 範囲	平均	断面積 m ²	材積 m ³
1935年10月調査	1,190	13.883	92.563	883	21.137	149.093	10	0.530	4.280	2,083	4~26	14.3	6~16	11.7	35.550	245.936
1952年 調査	210	2.937	19.990	1,167	33.830	248.817	107	6.227	50.490	1,484	8~32	18.8	9~17	13.4	42.994	319.297
1957年11月調査 期間内総成長量 1ヵ年間の成長量 同上成長率(%)	153	2.103	15.503	1,237	37.460	299.213	140	8.650	74.330	1,530	8~36	19.6	9~19	14.8	48.213 5.219 1.044 2.29	389.046 69.749 13.950 3.94

26. 権現A種収獲試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局霧島経営区, 58林班れ小班。
宮崎県北諸県郡荘内町大字西岳字権現 権現国有林。

林分の種類 アカマツ人工林。

試験地の面積 0.73 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1935 (昭. 10) 年12月～

吉岡 実
雇 牧 伝 四

1952 (昭. 27) 年～

技 官 安井 正 憲

1955 (昭. 30) 年1月～現在

" 細井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守
年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 霧島山高千穂峰南麓。
2. 海 拔 高 340 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西, 20°傾斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹。
5. 隣接地の状況 同様なアカマツ人工林。

B. 気 候

都城測候所 (宮崎県都城市中原町, 本試験地までの距離 22 km, 海拔高 155 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.3°C
2. 年平均降水量 2,821.9 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～9月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 76.8%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 3日, 平年初雪 1月26日, 平年終雪 2月12日,
積雪日数 ……
最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 72日, 平年初霜 11月5日, 平年晩霜 4月18日。

3. 風

平均風速度 3.0 *m/sec*, 最大風速度 35.0 *m/sec*, 最多風向 NNE。

D. 土壌の性質

1. 地 質 火山性岩の上に火山灰の堆積。
2. 岩石の種類 安山岩。
3. 土壌の種類および深度 黒色土壌 B_F型, 深度 中。
4. 土壌の縦断面

L	}	5.0 <i>cm</i>
F		
H		
A ₁		12.0 <i>cm</i>
A ₂		18.0 <i>cm</i>
B ₁		36.0 <i>cm</i>
B ₂		30.0 <i>cm</i>

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1907年3月の造林地。

1935年 林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1935年2月 第1回 毎木調査, 林齢28年。

1952年 第2回 毎木調査, 林齢45年。

1957年11月 第3回 毎木調査, 林齢50年。

IV 直径階別本数分配表

1935年2月			1952年			1957年11月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
12	14	6	12			12		
14	14	33	14			14		
16	15	50	16	16	1	16	16	1
18	16	94	18	17	6	18	17	2
20	17	83	20	18	8	20	18	3
22	18	95	22	19	13	22	19	12
24	18	45	24	19	23	24	19	22
26	19	16	26	20	38	26	20	27
28	19	8	28	21	46	28	21	38
30	19	1	30	21	39	30	21	44
			32	22	39	32	22	42
			34	22	40	34	22	40
			36	22	21	36	22	30
			38	23	7	38	23	15
			40	23	9	40	23	6
			42	23	2	42	23	4
			44	23	2	44	23	2
計		431	計		294	計		288

V 総括表

項 目	細径木 (12~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			大径木 (38~50cm)			計						
	本数	断面積 m ²	材積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	断面積 m ²	材 積 m ³	本数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
														範囲	平均	範囲	平均		
1935年 2 月 調 査	53	0.789	6.271	503	15.963	142.916	34	1.936	18.219				590	12~30	19.8	14~19	16.7	18.688	167.406
1952年 調 査				70	2.684	25.716	305	22.620	232.256	27	3.433	36.004	402	16~44	29.7	16~23	20.9	28.737	293.976
1957年11月 調 査 枯 死 期 間 内 総 成 長 量 1 ャ 年 間 の 成 長 量 同 上 成 長 率 (%)				55 3	2.215 0.079	21.307 0.670	303 5	23.215 0.416	238.605 4.101	37	4.538	47.695	395 8	16~44 16~34	30.7 27.0	16~23 14~21	21.2 19.0	29.968 0.495 1.726 0.345 1.18	307.607 4.771 18.402 3.680 1.22

27. 青井岳 A 種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所	熊本営林局高城経営区, 33林班を小班。 宮崎県北諸県郡高城町大字有水字青井岳 青井岳国有林。		
林分の種類	ヒノキ人工林。		
試験地の面積	0.73 ha		
担当者の官氏名およびその担任期間			
1932 (昭. 7) 年10月～	{ 沢田儀一郎 鐘江留雄		
1938 (昭. 13) 年1月～	{ 沢田儀一郎 鐘江留雄		
1942 (昭. 17) 年11月～	星 勇		
1952 (昭. 27) 年2月～	技 官	長 井 啓 三	
1955 (昭. 30) 年1月～現在	技 官	細 井 守	

II 試験地の立地

記載者官氏名	技 官 細 井 守
年 月	1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 青井岳西南西斜面の中腹 (青井岳 海拔高 563.2 m)。
2. 海 拔 高 440 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北東緩斜。
4. 地 貌 尾根下の中腹のやや上部。
5. 隣接地の状況 東西 同様なヒノキ人工林。
南東 広葉樹林。

B. 気 候

都城測候所 (都城市中原町, 本試験地までの距離 17.5 km, 海拔高 155 m) の観測値である。

1. 年平均気温 15.3°C
2. 年平均降水量 2,821.9 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～9月 21.1°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 76.8%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数	3日,	平年初雪	1月26日,	平年終雪	2月12日,
積雪日数	……				

最深雪 ……

2. 霜

降霜日数 72日, 平年初霜 11月5日, 平年晩霜 4月18日。

3. 風

平均風速度 3.0 m/sec, 最大風速度 35.0 m/sec,

最多風向 N, NE。

D. 土壌の性質

1. 地 質 中世層の水成岩の上に火山灰土が堆積。
2. 岩石の種類 砂岩
3. 土壌の種類および深度 埴質壤土, 上部は黒色火山灰土, 下部は褐色火山灰土, 深度 中。
4. 土壌の縦断面

L	0.8 cm
F	1.6 cm
H	1.8 cm
A ₁	49.0 cm
A ₂	6.0 cm
B ₁	35.0 cm
B ₂	以下
5. 植 生 テイカカズラ, イタビカズラ, ヒサカキ, ヤブニツケイ, コバンノキ, フユイチゴ, キイチゴ, ゼンマイ, サルトリイバラ。
6. 落葉枯枝の堆積 LF層とも薄く, 落葉枯枝の腐植化が早い。
7. 根系の分布 地表から 30~40 cm の深さの所まで最も多く吸収根が分布し, A層とB層との境目である 55~60 cm 近くまで吸収根は分布するが, それより下部B層には吸収根はない。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1915年の造林地。

1932年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1932年10月 第1回毎木調査, 林齢17年。

1938年1月 第2回毎木調査, 林齢23年。

1942年11月 第3回毎木調査, 林齢27年。

1952年2月 第4回毎木調査, 林齢37年。

1957年11月 第5回毎木調査, 林齢42年。

各調査時の立木本数に相当差があるがその理由は明らかでない。

1942年~1952年, 調査の間に原因不明の本数減(1割以上)あり。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1932年10月			1938年1月			1942年11月			1952年2月			1957年11月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
4	6					4	6	1						
6	7	50	6	7	19	6	7	15	6	7	3	6	8	2
8	9	177	8	9	54	8	9	37	8	9	3	8	9	3
10	10	299	10	10	103	10	10	70	10	10	35	10	11	17
12	11	317	12	11	237	12	11	119	12	11	41	12	12	51
14	12	228	14	12	356	14	12	216	14	12	90	14	13	78
16	12	122	16	12	230	16	12	244	16	12	146	16	14	128
18	13	49	18	13	164	18	13	226	18	13	155	18	14	173
20	14	10	20	14	80	20	14	180	20	14	213	20	15	170
22	15	2	22	15	37	22	15	95	22	15	137	22	16	139
			24	15	8	24	15	37	24	15	103	24	16	110
			26	16	3	26	16	16	26	16	55	26	17	97
						28	16	5	28	16	35	28	17	39
									30	17	14	30	18	23
									32	17	5	32	18	6
									34	18	1	34	19	2
計		1,254	計		1,291	計		1,261	計		1,036	計		1,038

Ⅴ 総 括 表

項 目	細径木 (4~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径 cm		樹 高 m		断面積 m^2	材 積 m^3
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1932年 10 月 調 査	1,467	14.347	93.530	251	5.604	38.747				1,718	6~22	11.8	7~15	10.7	19.951	132.277
1938年 1 月 調 査	1,053	12.730	85.210	711	17.919	127.868	4	0.218	1.759	1,768	6~26	14.5	7~16	11.8	30.867	214.837
期 間 内 総 成 長 量															10.916	82.560
1 ヶ 年 間 の 成 長 量															2.183	16.512
同 上 成 長 率 (%)															8.59	9.51
1942年 11 月 調 査	627	7.466	49.938	1,071	29.588	215.523	29	1.585	12.730	1,727	4~28	16.2	6~16	12.5	38.639	278.191
期 間 内 総 成 長 量															7.772	63.354
1 ヶ 年 間 の 成 長 量															1.554	12.671
同 上 成 長 率 (%)															4.47	5.14
1952 年 2 月 調 査	236	2.941	19.753	1,033	32.111	239.027	151	8.984	72.526	1,420	6~34	19.3	7~18	13.6	44.036	331.306
1957年 11 月 調 査	207	2.647	19.347	986	30.929	248.070	229	13.481	115.363	1,422	6~34	20.0	8~19	14.9	47.057	382.780
期 間 内 総 成 長 量															3.021	51.474
1 ヶ 年 間 の 成 長 量															0.504	8.579
同 上 成 長 率 (%)															1.11	2.40

28. 万膳第1号A種収獲試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局加治木経営区, $\frac{44}{47}$ 林班 $\frac{わ}{ほ}$ 小班。

鹿児島県始良郡牧園町字万膳, 万膳国有林。

林分の種類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 1.00 ha $\left\{ \begin{array}{l} 44\text{わ小班} \\ 47\text{ほ} \end{array} \right. \begin{array}{l} 0.32\text{ ha} \\ 0.68\text{ ha} \end{array}$

担当者の官氏名およびその担任期間

1952 (昭. 27) 年11月～

技 官 小 林 四 郎

1955 (昭. 30) 年1月～現在

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地理的位置 栗野岳西南面の中腹肥薩線栗野駅から32 km。
2. 海 拔 高 720 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西 緩斜。
4. 地 貌 山腹の平坦な小尾根。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

霧島中学校観測所 (始良郡霧島村田口, 本試験地までの距離 15 km, 海拔高 240 m) および鹿児島地方气象台 (鹿児島市上荒田町, 本試験地までの距離 42 km, 海拔高 5.4 m) の観測値である。括弧内の数値は鹿児島地方气象台のもの。

1. 年平均気温 16.8°C
2. 年平均降水量 2.954 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 22.2°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 83.0%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 (6.8日), 平年初雪 12月9日, 平年終雪 3月4日,

積雪日数 ……

最深雪 (14 cm)

2. 霜

降霜日数 (38日), 平年初霜 10月22日, 平年晩霜 4月21日。

3. 風

平均風速度 (2.7 m/sec), 最大風速度 (49.6 m/sec),

最多風向 (NW)。

D. 土壌の性質

1. 地 質 火山性岩石上に火山灰が堆積。
2. 岩石の種類 安山岩。
3. 土壌の種類および深度 黒色土壌, 埴壤土, 深度 浅。
4. 土壌の縦断面 ……
5. 植 生 ネズミモチ, コバンノキ, ユズリハ, ヤマモミジ, ヤマザクラ, ホソバタブ
ムラサキシキブ, ガクウツギ, ツルグミ。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1915年3月の造林地。

1952年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1952年11月 第1回毎木調査, 林齢 37 年。

1957年11月 第2回毎木調査, 林齢 42 年。

Ⅳ 直径階別本数分配表

1952年11月			1957年11月		
直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数	直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数
8	9	4	8	9	1
10	10	23	10	11	16
12	11	91	12	12	77
14	12	252	14	13	216
16	12	435	16	14	396
18	13	593	18	14	519
20	14	480	20	15	475
22	15	229	22	16	290
24	15	59	24	16	106
26	16	11	26	17	33
28	16	1	28	17	3
			30	17	1
計		2,178	計		2,133

Ⅴ 総 括 表

項 目	細 径 木 (8~14cm)			小 径 木 (16~24cm)			中 径 木 (26~36cm)			計						
	本 数	断 面 積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³	本数	断 面 積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³	本数	断 面 積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³	本数	胸高直径 <i>cm</i> 範圍 / 平均		樹 高 <i>m</i> 範圍 / 平均		断面積 <i>m</i> ²	材 積 <i>m</i> ³
1952年11月調査	370	5.108	34.693	1,796	50.295	367.632	12	0.646	5.197	2,178	8~28	17.9	9~16	13.1	56.049	407.522
1957年11月調査	310	4.326	31.955	1,786	51.915	413.233	37	2.007	17.090	2,133	8~30	18.4	9~17	14.4	58.248	462.278
枯 損 木	38	0.391	2.646	1	0.020	0.146	1	0.045	0.340	40	8~24	11.7	9~15	10.9	0.456	3.132
期間内総成長量															2.655	57.888
1ヵ年間の成長量															0.531	11.578
同上成長率(%)															0.93	2.65

29. 万膳第2号A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局加治木経営区, 45林班ろ内小班。

鹿児島県始良郡牧園町字万膳 万膳国有林。

林 分 の 種 類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.49 ha {標準地 0.25 ha
外囲林 0.24 ha}

担当者の官氏名およびその担任期間

1952 (昭. 27) 年11月～

技 官 小 林 四 郎

1955 (昭. 30) 年1月～現在

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 栗野岳の西南面の中腹, 肥薩線栗野駅から 32 km。
2. 海 拔 高 780 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西 緩斜。
4. 地 貌 山腹の平坦な小尾根。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

霧島中学校観測所 (始良郡霧島村田口, 本試験地までの距離 15 km, 海拔高 240 m) および鹿児島地方気象台 (鹿児島市上荒田町, 本試験地までの距離 42 km, 海拔高 5.4 m) の観測値である。
括弧内の数値は鹿児島地方気象台のもの。

1. 年 平 均 気 温 16.8°C
2. 年平均降水量 2,954 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 22.2°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 83.0%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 (6.8日), 平年初雪 12月9日, 平年終雪 3月4日,

積雪日数 ……

最深雪 (14 cm)

2. 霜

降霜日数 (38日), 平年初霜 10月22日, 平年晩霜 4月21日。

3. 風

平均風速度 (2.7 m/sec), 最大風速度 (49.6 m/sec),

最多風向 (NW)。

D. 土壌の性質

1. 地 質 火山性岩石上に火山灰が堆積。
2. 岩石の種類 安山岩。
3. 土壌の種類および深度 黒色土壌, 埴壤土, 深度 浅。
4. 土壌の縦断面 ……
5. 植 生 ヒサカキ, ネズミモチ, イヌツゲ, ヤブコウジ, ミヤマシキミ。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1915年3月の造林地, 1952年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1952年11月 第1回毎木調査, 林齢37年。

1957年11月 第2回 " " 42年。

IV 直径階別本数分配表

1952年11月			1957年11月		
直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数	直径階 <i>cm</i>	樹 高 <i>m</i>	総 数
6	6		6		
8	7	3	8		
10	8	2	10	9	2
12	9	2	12	10	3
14	10	23	14	10	18
16	10	81	16	11	69
18	11	161	18	12	139
20	12	101	20	12	114
22	12	37	22	13	52
24	13	7	24	13	14
			26	14	3
計		417	計		414

V 総 括 表

項 目	細径木 (8~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)			計						
	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	断面積 m ²	材 積 m ³	本 数	胸高直径cm		樹 高 m		断面積 m ²	材 積 m ³
											範 囲	平均	範 囲	平均		
1952年 11 月 調 査	120	1.628	9.264	1,548	42.492	261.724				1,668	8~24	18.2	7~13	11.1	44.120	270.988
1957年 11 月 調 査	92	1.308	7.576	1,552	44.468	290.304	12	0.636	4.512	1,656	10~26	18.7	9~14	11.9	46.412	302.392
期 間 内 総 成 長 量															2.292	31.404
1 ヲ 年 間 の 成 長 量															0.458	6.281
同 上 成 長 率 (%)															1.01	2.19

30. 万膳第3号A種収穫試験地

I 試験地の位置および担当者

箇所 熊本営林局加治木経営区, 45林班は内小班。

鹿児島県始良郡牧園町字万膳 万膳国有林。

林分の種類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.49 ha { 標準地 0.25 ha
外囲林 0.24 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1952 (昭. 27) 年11月～

技官 小林 四郎

1955 (昭. 30) 年1月現在

" 細井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技官 細井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年3月

A. 位置

1. 地理的位置 栗野岳西南面の中腹, 肥薩線栗野駅から 32 km。
2. 海拔高 800 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西 緩斜。
4. 地 貌 山腹の平坦な小尾根。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

霧島中学校観測所 (始良郡霧島村田口, 本試験地までの距離 15 km, 海拔高 240 m) および鹿児島地方気象台 (鹿児島市上荒田町, 本試験地までの距離 42 km, 海拔高 5.4 m) の観測値である。括弧内の数値は鹿児島地方気象台のもの。

1. 年平均気温 16.8°C
2. 年平均降水量 2,954 mm
3. 成長期間およびその平均温度 4～10月 22.2°C
4. 年降水量に対する成長期間の降水量百分比 83.0%

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降雪日数 (6.8日), 平年初雪 12月9日, 平年終雪 3月4日,

積雪日数 ……

最深雪 (14 cm)

2. 霜

降霜日数 (38日), 平年初霜 10月22日, 平年晩霜 4月21日。

3. 風

平均風速度 (2.7 m/sec), 最大風速度 (49.6 m/sec), 最多風向 (NW)。

D. 土壌の性質

1. 地 質 火山性岩石上に火山灰が堆積。
2. 岩石の種類 安山岩。
3. 土壌の種類および深度 黒色土壌, 埴壌土, 深度 浅。
4. 土壌の縦断面 ……
5. 植 生 ヒサカキ, ネズミモチ, イヌツゲ, シキミ, ヤブコウジ。

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1915年3月の造林地, 1952年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1952年11月 第1回 毎木調査, 林齢37年。

1957年11月 第2回 " 林齢42年。

IV 直径階別本数分配表

1952年11月			1957年11月		
直径階 <i>cm</i>	樹高 <i>m</i>	總數	直径階 <i>cm</i>	樹高 <i>m</i>	總數
4			4	5	
6	6	4	6	6	1
8	7	7	8	8	5
10	8	11	10	9	10
12	9	43	12	10	38
14	10	135	14	10	107
16	10	206	16	11	184
18	11	159	18	12	172
20	12	70	20	12	89
22	12	12	22	13	31
			24	13	4
計		647	計		641

V 総 括 表

[illegible]

31. 杉 崎 A 種 収 穫 試 験 地

I 試験地の位置および担当者

箇 所 熊本営林局出水経営区, 63林班ろ小班。
鹿児島県出水市大字武本字杉崎 杉崎国有林。

林 分 の 種 類 ヒノキ人工林。

試験地の面積 0.55 ha

担当者の官氏名およびその担任期間

1951 (昭. 26) 年～

技 官 安 井 正 憲

1955 (昭. 30) 年 1 月～現在

" 細 井 守

II 試験地の立地

記載者官氏名 技 官 細 井 守

年 月 1955 (昭. 30) 年 3 月

A. 位 置

1. 地 理 的 位 置 出水市から南東に 7.5 km の地点。
2. 海 抜 高 400 m
3. 傾斜方向および傾斜度 北西 25° 傾斜。
4. 地 貌 尾根すじの中腹。
5. 隣接地の状況 同様なヒノキ人工林。

B. 気 候

出水営林署大久保苗畑観測所(鹿児島県出水郡高尾野町大字大久保, 本試験地までの距離 10 km, 海拔高および鹿児島地方気象台(鹿児島市上荒田町, 本試験地までの距離 50.0 km, 海拔高 5.4 m)の観測値である。括弧内の数値は鹿児島地方気象台のもの。

1. 年 平 均 気 温 16.0°C
2. 年 平 均 降 水 量 (2,156 mm)
3. 成 長 期 間 お よ び そ の 平 均 温 度 (4～10月) (21.8°C)
4. 年 降 水 量 に 対 す る 成 長 期 間 の 降 水 量 百 分 比 (76.7%)

C. 気候上の特殊現象

1. 雪

降 雪 日 数 10日, 平年初雪 12月20日, 平年終雪 2月20日,
積 雪 日 数
最 深 雪 (14 cm)

2. 霜

降 霜 日 数 20日, 平年初霜 11月30日, 平年晩霜 3月20日。

3. 風

平均風速度 3.3 *m/sec*, 最大風速度 (49.6 *m/sec*),

最多風向 ENE。

D. 土壌の性質

1. 地 質 ……

2. 岩石の種類 砂岩。

3. 土壌の種類および深度 E_D型 壤土, 深度 中。

4. 土壌の縦断面 ……

5. 植 生 ヒサカキ, イズセンリョウ, ヌズリハ, ウラジロシダ。

6. 落葉枯枝の堆積 約1~4*cm*

Ⅲ 試験地の来歴および経過要領

1909年の造林地。

1951年に林分成長量を測定する目的で試験地を設定。

1951年 第1回毎木調査, 林齢42年。

1956年11月 第2回毎木調査, 林齢47年。

1951~1956年調査の間に本数増があり試験地区画に誤りがあつたのではないかと認められるから, 1956年の新設試験地として取り扱う。

IV 直径階別本数分配表

1951年			1956年11月		
直径階 cm	樹高 m	総数	直径階 cm	樹高 m	総数
10	9	2	10	9	2
12	10	3	12	10	4
14	10	21	14	10	6
16	11	35	16	11	41
18	12	50	18	12	33
20	12	115	20	12	90
22	13	98	22	13	102
24	13	109	24	13	120
26	14	63	26	14	76
28	14	26	28	14	45
30	15	15	30	15	34
32	15	8	32	15	11
34	16	3	34	16	9
36	16	3	36	16	
			38	17	2
			40	17	
			42	17	1
計		548	計		576

V 総括表

項 目	細径木 (4~14cm)			小径木 (16~24cm)			中径木 (26~36cm)			大径木 (38~50cm)			計						
	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	断面積 m^2	材 積 m^3	本 数	胸高直径cm 範 囲	平均	樹 高 m 範 囲	平均	断面積 m^2	材 積 m^3
1951年 調 査	47	0.678	3.929	740	25.902	171.571	209	12.645	90.262				996	10~36	22.0	9~16	12.7	39.225	265.762
1956年 11 月 調 査	22	0.278	1.625	702	25.087	166.535	318	19.838	142.304	5	0.664	5.220	1,047	10~42	23.2	9~17	13.0	45.867	315.684

収穫試験地調査報告 第6号

昭和33年11月21日 印刷

昭和33年11月26日 発行

熊本営林局管内
収穫試験地調査中間報告書

農林省 林業試験場

東京都目黒区下目黒4の770

電話 東京 (712) 1131～7

S T